

長岡京市文化財調査報告書

第81冊

2024

長岡京市教育委員会

編集 公益財団法人長岡京市埋蔵文化財センター

長岡京市文化財調査報告書

第81冊

2024

長岡京市教育委員会

編集 公益財団法人 長岡京市埋蔵文化財センター

序 文

私たちの長岡京市は、豊かな水と緑に恵まれた良好な環境と大都市を結ぶ交通の利便性により発展してきたまちです。

古くは旧石器時代から人々が生活を営んだことがわかっており、特に784年に「長岡京」という当時のわが国の都が置かれた地として、全国的に知られています。

また、市内には史跡乙訓古墳群を構成する首長墓や、勝龍寺城などの城館跡、乙訓寺・長岡天満宮といった神社仏閣など、数多くの文化遺産が存在し、現代に至るまで豊かな歴史と文化を守り育んできました。

本市では、これらの調査・保護に力を入れるとともに普及・啓発に努め、地域全体で風土や文化遺産を守るまちづくりを進めています。

さて、本報告書は令和4年度に長岡京市教育委員会が実施した発掘調査と令和5年度に実施した詳細分布調査の成果をまとめたものです。

恵解山古墳13次調査は、墳丘盛土などを確認するために実施しました。墓地として利用されているため、これまでほとんど調査されていなかった後円部と前方部東側の墳丘盛土の状況を確認することが出来ました。

詳細分布調査では、市域の約半分を占め市街地のほぼ全域を包括する長岡京跡やその他の遺跡に関する情報の蓄積が進んでいます。

最後になりましたが、発掘調査にあたり数々のご助力をいただきました土地所有者や地元協力者の方々、ご指導・ご助言をいただいた諸先生方並びに調査を担当していただいた公益財団法人長岡京市埋蔵文化財センターなどの関係機関に深く感謝いたします。

本書が文化財保護の普及・啓発の一助となり、また地域学習の資料として広く活用いただければ幸いです。

令和6年3月

長岡京市教育委員会

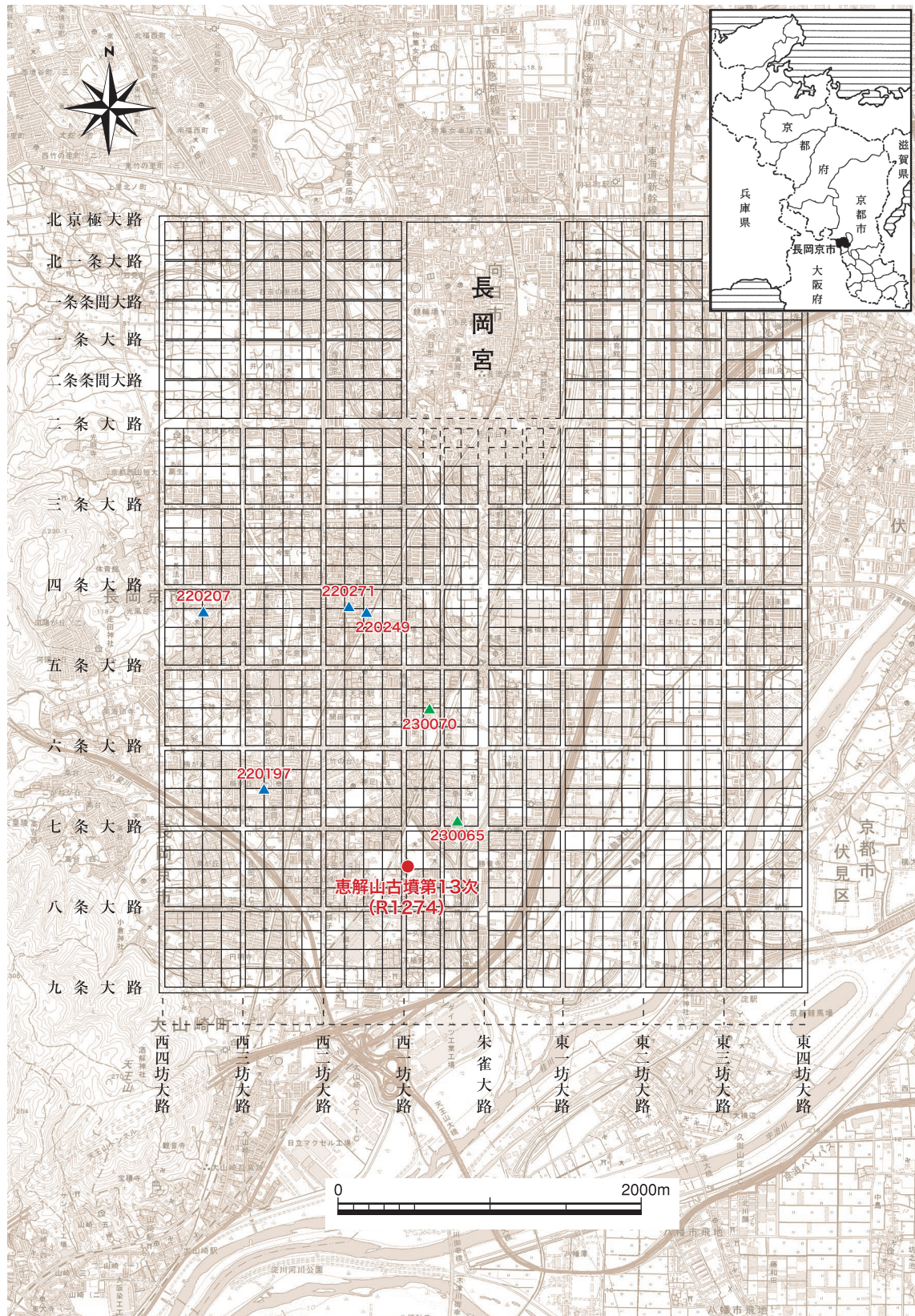
教育長 西村文則

凡 例

1. 本書は、長岡京市教育委員会が国庫補助事業として公益財団法人長岡京市埋蔵文化財センターに事業を委託して実施した、令和5年度の発掘調査および令和4・5年度の詳細分布調査に関する概要報告である。
2. 調査対象地は、第1図および付表-1に表示した。なお、恵解山古墳第13次調査については、令和4年度に現地調査を行い、その調査成果の概要を今回報告するものである。
3. 長岡京跡の調査次数は、右京域と左京域に分けて通算したものである。また、調査地区名は、前半が奈良文化財研究所の遺跡分類表示、後半が京都府教育委員会『埋蔵文化財発掘調査概報』（1977年）収録の旧大字小字名による地区割りと同地区内における調査回数を示す。
4. 長岡京跡の条坊名称は、山中章「古代条坊制論」『考古学研究』第38巻第4号（1992年）の復原案に従った。
5. 本書で使用する地形区分は、特に断らない限り「長岡京市域地形分類図」『長岡京市史』資料編一（1991年）によった。
6. 各章（注）に示した報告書のうち使用頻度の高いものは、『長岡京市埋蔵文化財発掘調査資料選』（十二）公益財団法人長岡京市埋蔵文化財センター（2023年）に従って略記した。
7. 本書において使用している遺構番号は、長岡京跡に関する調査の場合、調査次数+番号であるが、煩雑さを避けるため調査次数を省略している。「SD01」の場合、調査次数を冠した「SD〇〇〇〇01」が正式な番号である。
8. 本書で使用している方位と国土座標値は、世界測地系の第VI系によっている。
9. 本書の挿図の土層名で〈 〉を付けて表示した記号は、『新版標準土色帳』（1997年版）のJIS表記法による土色名である。
10. 本書は、各章冒頭記載の調査担当者が執筆し、全体の編集は技術補佐員・整理員の協力のもと猿向敏一が行った。

付表-1 本書報告調査地一覧表

調査次数	地区名	所在地	現地調査期間	面積	備考
恵解山古墳第13次調査 (長岡京跡右京第1274次)	7AN QKK-13	長岡京市勝竜寺地内	2023年1月23日 ～ 2023年2月3日	約3㎡	恵解山古墳 南栗ヶ塚遺跡
令和4年度詳細分布調査	付表-2参照				
令和5年度詳細分布調査	付表-3参照				



- 令和 4 年度 発掘調査
- ▲ 令和 4 年度 詳細分布調査 (内、詳細を掲載した調査)
- ▲ 令和 5 年度 詳細分布調査 (内、詳細を掲載した調査)

第 1 図 長岡京と調査地の位置 (1/40000)

本文目次

第1章 恵解山古墳第13次調査概要

— 長岡京跡右京第1274次(7ANQKK-13地区)調査 —

1	はじめに	1
2	調査経過	2
3	調査概要	5
4	まとめ	8

第2章 長岡京市内遺跡詳細分布調査概要

1	はじめに	9
2	調査概要	9
3	主な調査成果	10

図版目次

恵解山古墳第13次調査 — 長岡京跡右京第1274次調査 —

図版1	(1) 後円部の調査前風景(南東から)	(2) 前方部の調査前風景(北西から)
	(3) 1トレンチ全景(南東から)	(4) 2トレンチ全景(南東から)
	(5) 2トレンチ墳丘盛土と造成土(南東から)	(6) 3トレンチ全景(北東から)
	(7) 3トレンチ墳丘盛土と造成土(東から)	(8) 4トレンチ全景(北から)
図版2	(1) 1トレンチ完掘状況(東から)	(2) 1トレンチ埋め戻し状況(東から)
	(3) 2トレンチ完掘状況(東から)	(4) 2トレンチ埋め戻し状況(東から)
	(5) 3トレンチ完掘状況(北東から)	(6) 3トレンチ埋め戻し状況(北東から)
	(7) 4トレンチ完掘状況(北から)	(8) 4トレンチ埋め戻し状況(北から)

挿 図 目 次

第 1 図	長岡京と調査地の位置 (1/40000)	iii
-------	----------------------	-----

恵解山古墳第 13 次調査 — 長岡京跡右京第 1274 次調査 —

第 2 図	発掘調査地位置図 (1/5000)	1
第 3 図	関係者説明会 (東から)	2
第 4 図	3 トレンチ埋め戻し作業 (北から)	2
第 5 図	恵解山古墳の墳丘復元整備状況と調査区の配置 (1/600)	3
第 6 図	恵解山古墳の調査区の配置図 (1/1000)	4
第 7 図	現況の墳丘と調査区の配置 (1/300)	5
第 8 図	各トレンチ検出遺構図・土層図 (1/50)	7

長岡京市内遺跡詳細分布調査

第 9 図	第 220197 次調査地位置図 (1/5000)	10
第 10 図	第 220197 次調査 土層断面 (西から)	10
第 11 図	第 220207 次調査地位置図 (1/5000)	10
第 12 図	第 220207 次調査 検出状況 (東から)	10
第 13 図	第 220249 次調査地位置図 (1/5000)	11
第 14 図	第 220249 次調査 検出状況 (西から)	11
第 15 図	第 220271 次調査地位置図 (1/5000)	11
第 16 図	第 220271 次調査 土層断面 (東から)	11
第 17 図	第 230065 次調査地位置図 (1/5000)	12
第 18 図	第 230065 次調査 検出状況 (東から)	12
第 19 図	第 230070 次調査地位置図 (1/5000)	13
第 20 図	第 230070 次調査 検出状況 (北西から)	13

付 表 目 次

付表-1	本書報告調査地一覧表	ii
付表-2	長岡京市内遺跡詳細分布調査一覧表-1 (令和4年12月~令和5年3月)	14
付表-3	長岡京市内遺跡詳細分布調査一覧表-2 (令和5年4月~11月)	19
付表-4	報告書抄録	29

2 調査経過

本調査は、国史跡乙訓古墳群の1基である恵解山古墳の墳丘上で実施した。恵解山古墳は、古墳時代中期前半の前方後円墳であり、全長約128mで周囲には幅約30mの周濠を有する乙訓地域最大の古墳である。恵解山古墳では、1980（昭和55）年の第3次調査において700点以上の鉄製武器類を納めた副葬品埋納施設が発見されたことで、翌年に国の史跡として指定されることになった。2003（平成15）年からは史跡の保存整備に向けた範囲確認調査が継続して行われ（第4～12次調査）、保存整備工事が完了した2014（平成26）年に恵解山古墳公園として開園^(注)している。

調査地は、古墳墳丘のなかでも、現在、勝竜寺地区の墓地として利用されている範囲内の東側にあたる。対象地の現況地形は墓地造成で改変されたものであり、切り通しへ至る傾斜面や墓地の東側に見られる傾斜面と平坦地が恵解山古墳築造時のものでないことは明らかであった。

調査は、古墳の墳丘盛土を確認することを主眼に実施した。そのため、墳丘盛土の保護や墓地等への配慮の観点から掘削などの作業を全て人力で行った。また、調査範囲は上記目的に沿った最小限の面積に留めている。



第3図 関係者説明会（東から）

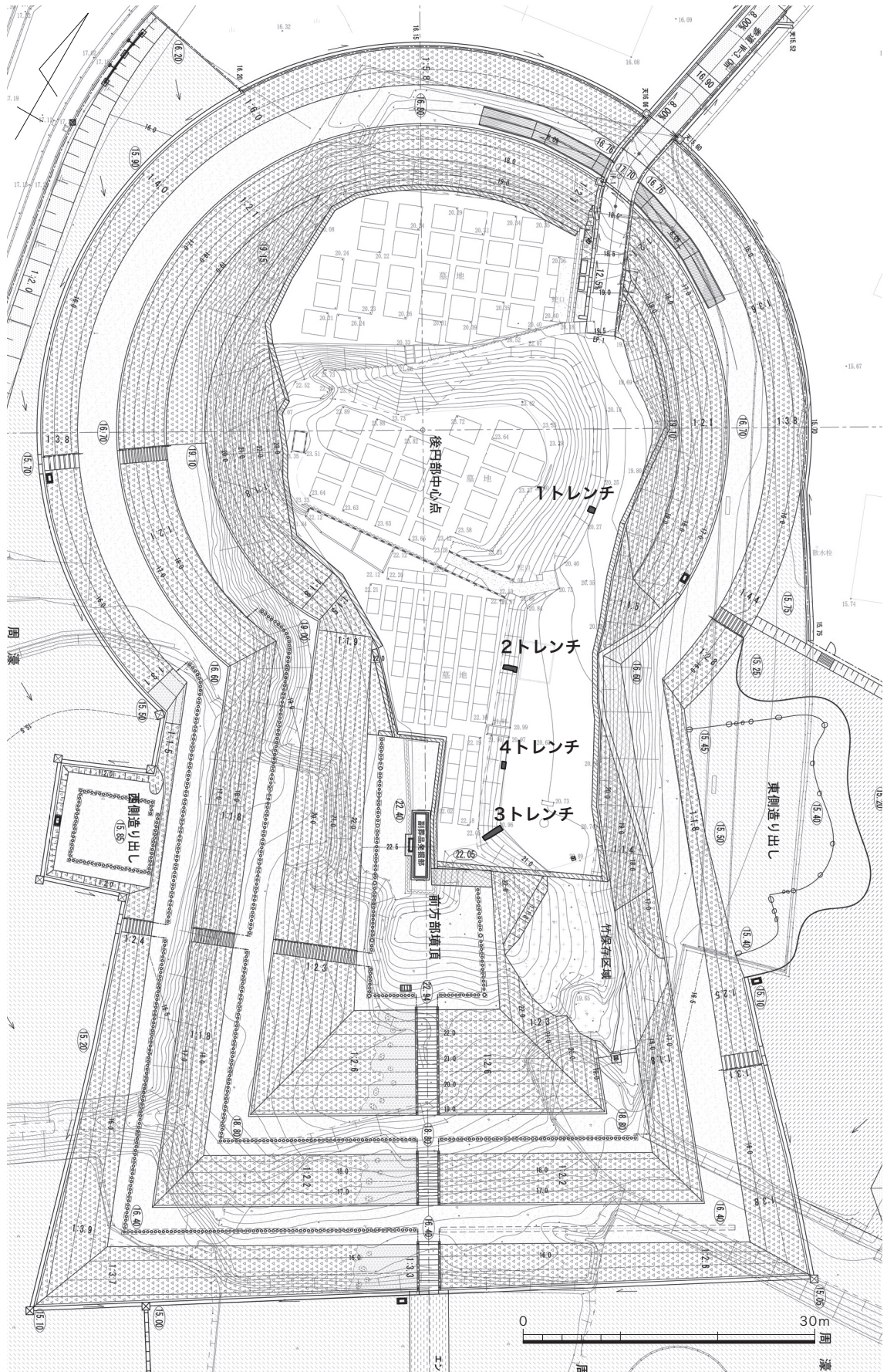


第4図 3トレンチ埋め戻し作業（北から）

調査区は、当初、後円部の東側で1ヶ所（1トレンチ）、前方部の東側で2ヶ所（2・3トレンチ）を植栽や通路に配慮する形状で設定した。恵解山古墳の墳丘復元では、1トレンチが後円部上段斜面の東側下方、2トレンチが前方部上段斜面の北寄り、3トレンチが前方部上段斜面の中央部にあたる。とくに、3トレンチの西側では先述した副葬品埋納施設が発見されている。

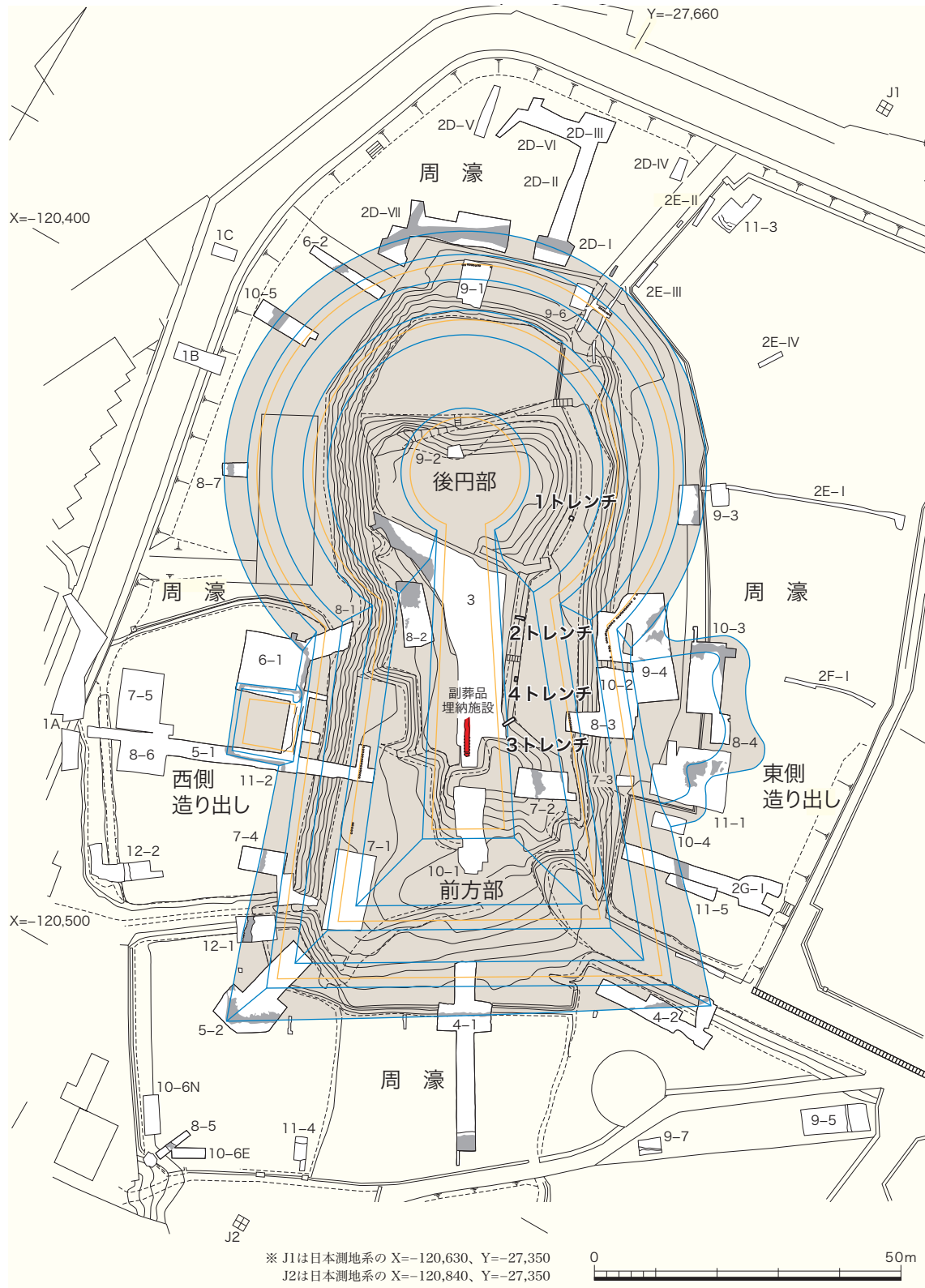
調査は2023（令和5）年1月23日から着手し、1月31日と2月1日に関係者説明会を行った後、2月2日には前方部の東側に新たな調査区を1ヶ所（4トレンチ）設けた。2月1日からは、記録作業を完了した調査区から人力で埋め戻しを開始し、全ての作業は2月3日に終了した。

各調査区的面積は1トレンチが0.4㎡、2トレンチが0.7㎡、3トレンチが1.1㎡、4トレンチが0.3㎡で、調査面積の総計は2.5㎡であった。



第5図 恵解山古墳の墳丘復元整備状況と調査区の配置 (1/600)

4 調査経過

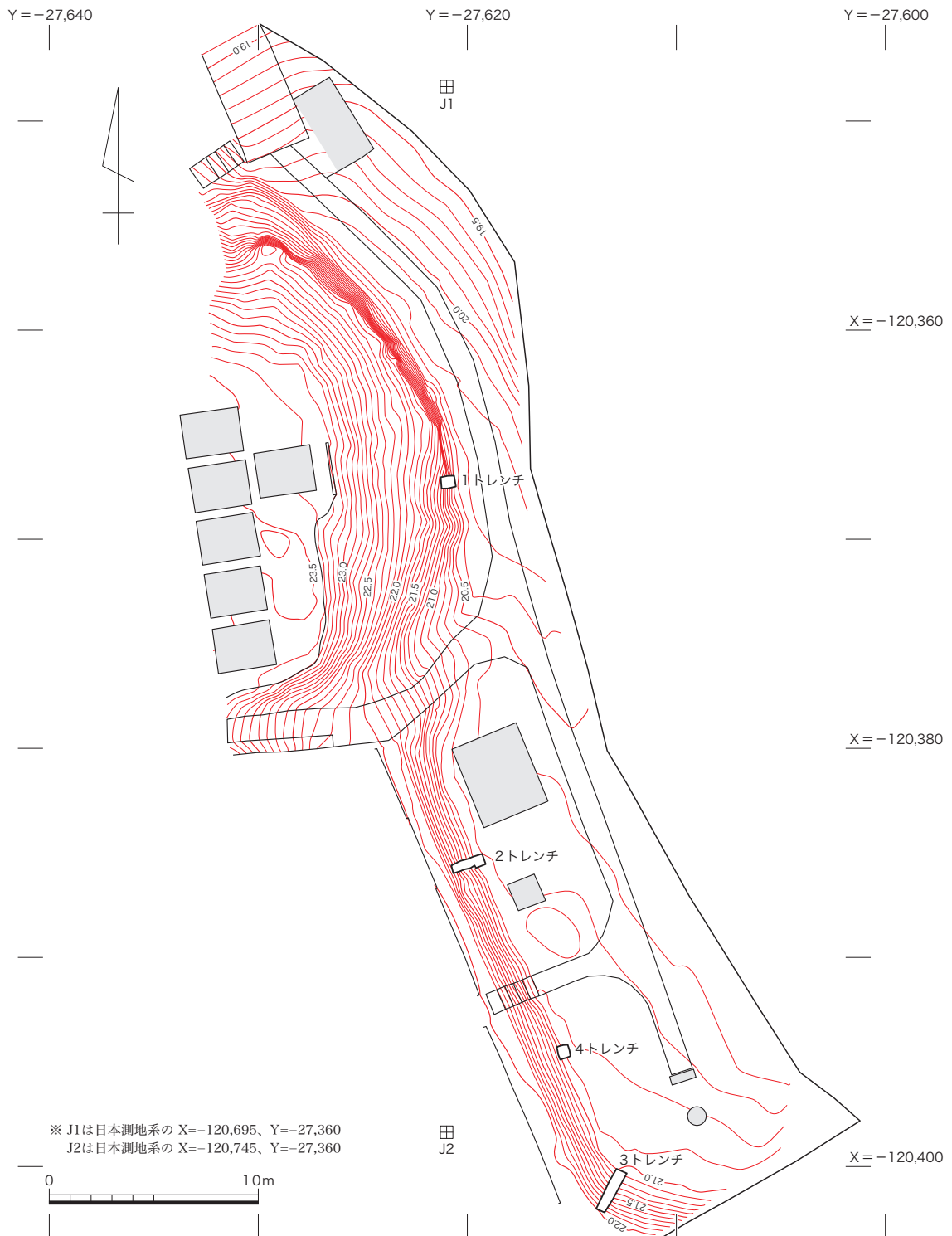


- (凡 例)
- 古墳各段の復元線
 - 今回の調査区
 - 葺石・礫敷または転落石
 - 埴輪列の復元線 (※ 復元線は平成22年時点の復元案に基づく)
 - これまでの調査区
 - 埴輪列
 - 副葬品埋納施設

第6図 恵解山古墳の調査区の配置図 (1/1000)

3 調査概要

本調査では、恵解山古墳の墳丘東側に設けた1～4トレンチにおいて、古墳本来の墳丘盛土とその上にある表土ないし造成土を確認した。各トレンチともに墳丘斜面に施された葺石はもとより、埴輪など古墳に伴う遺物は出土しなかった。以下、各トレンチにおける墳丘盛土までの層序などを記載し、調査の概要報告とする。



第7図 現況の墳丘と調査区の配置 (1/300)

1トレンチ 後円部の東側に設けられた切り通しの傾斜面に、幅 0.55 m、水平距離約 0.7 m の調査区を設定した。

1トレンチでは、厚さ 5～20cm の腐葉土である表土を除去すると、淡黄灰色を呈し良く締まった墳丘盛土が現れる。確認した墳丘盛土の高さは、標高 20.3～20.95 m である。墳丘盛土の確認状況から、現在、樹木の幹部付近に露出している土も墳丘盛土であることが分かった。なお、墳丘盛土が崖状を呈する範囲の下には、切り通しの影響を受け墳丘盛土が崩落した土が堆積していた。1トレンチからは遺物が出土していない。

2トレンチ 前方部に設けられた墓地東側傾斜面の北寄りに、幅 0.45 m、水平距離約 1.5 m の調査区を設定した。

2トレンチでは、表土の下に造成土（真砂土・砕石を含む）があり、地表面下 30～90cm で前方部の墳丘盛土が現れる。墳丘盛土は後円部と異なり、茶灰色を呈するやや粘性の強い土であった。また、小礫が比較的多く含まれている。調査区の東端には、墓地造成時のものと考えられる攪乱坑が認められた。確認した墳丘盛土は標高 20.1～20.7 m であるが、低い値は攪乱の影響を受けたものである。現地形を形成する造成土には、真砂土・砕石などが認められる。真砂土は非常に軟弱で、厚さ 20～70cm で西側に厚く施される。造成土からは棧瓦片が出土しているが、古墳に伴う遺物は認められない。

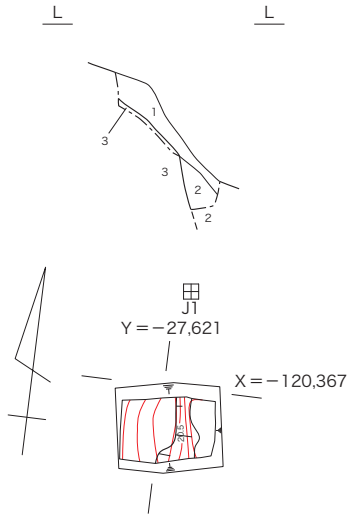
3トレンチ 前方部に設けられた墓地東側傾斜面の南寄りに、幅 0.5 m、水平距離約 2.1 m の調査区を設定した。前述したように本トレンチの西側、前方部墳頂平坦面では副葬品埋納施設が発見されており、現在は陶板によって明示されている。

3トレンチでは、表土下に造成土があり、地表面下 15～40cm で前方部の墳丘盛土が現れる。墳丘盛土は黄灰色を呈する粘性の強い土であった。少量ながら小礫が含まれており、2トレンチの墳丘盛土に近い。調査区西端では部分的に黄褐色砂礫土の墳丘盛土が認められた。確認した墳丘盛土の高さは、標高 20.6～21.7 m である。調査区内では、墳丘盛土面の傾斜が東側への傾斜から南東側へ変わる状況が認められた。造成土には、真砂土・砕石などが認められず、2トレンチの状況と大きく異なる。調査区下端部の造成土は、真砂土に似た土を含んでいるが部分的なものであった。造成土からは陶磁器片が出土しているが、古墳に伴う遺物は認められない。

4トレンチ 前述した2・3トレンチでは、墓地造成土の状況が大きく異なっていた。造成土の状況を明らかにするため、両トレンチのほぼ中間地点に新たなトレンチを設けることになった。4トレンチは前方部に設けられた墓地東側傾斜面の裾部に、幅 0.6 m、水平距離約 0.5 m の調査区を設定した。なお、4トレンチからは遺物が出土していない。

4トレンチでは、表土の下に造成土があり、地表面下 30～45cm で前方部の墳丘盛土が現れる。墳丘盛土は茶灰色を呈するやや粘性の強い土で、少量ながら小礫が含まれていた。調査区東側では植栽の根によって墳丘盛土面が乱されており、墳丘盛土を確認した範囲が限られている。造成土は傾斜面側で真砂土が認められ、流失土と考えられる真砂土を含む土が西から東側へ堆積している。こうしたことから西側傾斜面に一定量の真砂土が存在するものと考えられる。

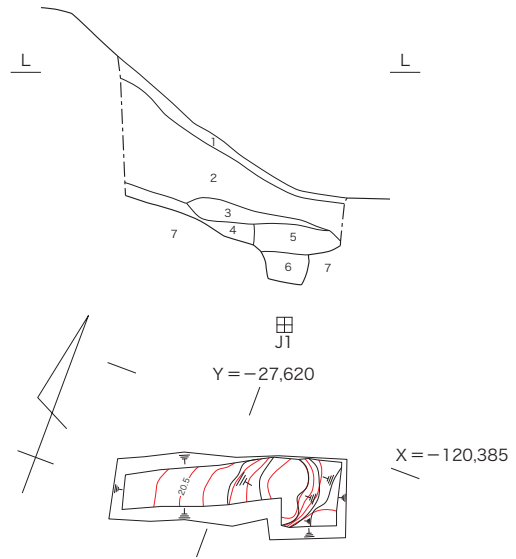
1 トレンチ



※ J1は、日本測地系の X=-120,713.0、Y=-27,360.0
J2は、日本測地系の X=-120,715.0、Y=-27,360.0

- 1 表土 (腐葉土)
- 2 暗黄灰色弱粘質土 <10YR7/2> 礫含み 崩落土
- 3 淡黄灰色弱粘質土 <10YR8/3> 礫含み 墳丘盛土 L=21.5m

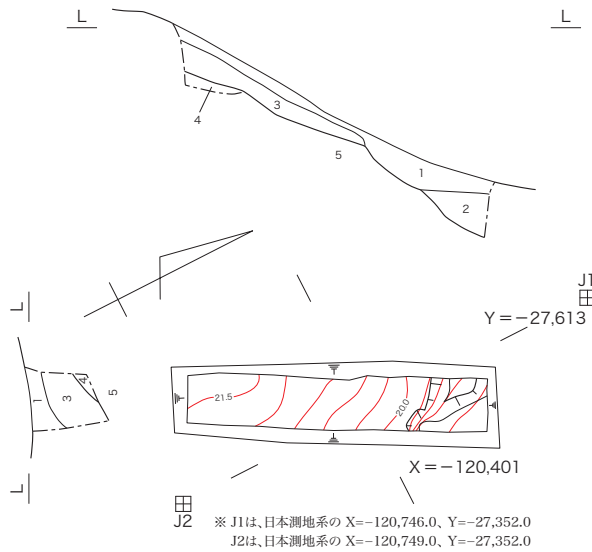
2 トレンチ



※ J1は、日本測地系の X=-120,731.0、Y=-27,359.0
J2は、日本測地系の X=-120,733.0、Y=-27,359.0

- 1 表土
 - 2 淡黄土色砂質土 <10YR8/4> 真砂土
 - 3 暗灰褐色砂礫 <N3/> 碎石混じり } 造成土
 - 4 濁淡茶灰色弱粘質土 <5YR4/3>
 - 5 濁暗茶灰色弱粘質土 <10YR5/2> } 攪乱
 - 6 濁淡灰褐色砂礫土 <10YR4/1>
 - 7 暗茶灰色弱粘質土 <7.5YR6/6> 小礫混じり 墳丘盛土
- L=21.5m

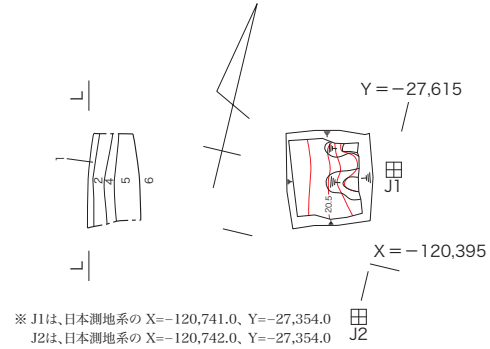
3 トレンチ



※ J1は、日本測地系の X=-120,746.0、Y=-27,352.0
J2は、日本測地系の X=-120,749.0、Y=-27,352.0

- 1 表土
- 2 淡灰黄色粘質土 <5Y5/3> 真砂土混じり } 造成土
- 3 濁黄灰色粘質土 <5YR6/3>
- 4 暗黄褐色砂礫土 <5YR4/4> } 墳丘盛土
- 5 淡黄灰色粘質土 <5YR6/6> } L=22.0m

4 トレンチ



※ J1は、日本測地系の X=-120,741.0、Y=-27,354.0
J2は、日本測地系の X=-120,742.0、Y=-27,354.0

- 1 表土
 - 2 濁黄灰色砂質土 <5Y7/3> 南側は真砂土
 - 3 濁淡黄灰色粘質土 <5Y6/2> 青灰色・黄褐色ブロック } 造成土
 - 4 濁明黄褐色粘質土 <7.5YR4/3> 真砂土混じり
 - 5 淡茶灰色弱粘質土 <7.5Y4/2> 埋土崩落土か
 - 6 淡茶灰色弱粘質土 <10YR5/8> 小礫混じり 墳丘盛土
 - 7 濁暗黄灰色粘質土 <5Y6/2> 青灰色・黄褐色ブロック 造成土
- L=21.0m



第8図 各トレンチ検出遺構図・土層図 (1/50)

4 まとめ

恵解山古墳では、副葬品埋葬施設が発見された前方部の第3次調査以降、保存整備のための調査が実施され古墳築造時の姿が明らかになった。しかし、現在墓地として利用されている範囲、とくに後円部と前方部の墳丘東側上半部については、ほとんど調査が実施されていない。本調査は非常に狭小なものであったが、これまで調査事例の限られていた恵解山古墳の上述範囲において実施し、墳丘盛土の状況を確認することができた。

本調査で確認できた墳丘盛土は、後円部の1トレンチと前方部の2～4トレンチにおいて、その性質に相違が認められた。後円部側に比べ、前方部側の墳丘盛土は茶色を呈し、粘性が強い。また、小礫の混じりも目立つものであった。こうした墳丘盛土の相違は、古墳築造時の盛土採取地や大きな作業単位の違いを示すものかも知れない。しかし、確認した墳丘盛土には古墳築造時の表面からの距離、墓地造成後の切り通しや造成土による変色、変質などの影響を見極める必要があるだろう。

前方部に造成されている墓地の東側では、傾斜面から平坦地の隅部において3ヶ所のトレンチを設けて墳丘盛土などの確認を行った。平坦地隅部における墳丘盛土の高さは、北から2トレンチが標高20.4m、4トレンチが同20.4m、南端の3トレンチが同20.6mである。現状の平坦地も南辺以外がほぼ水平に造成されていることから、南端の3トレンチ周辺を除く範囲の墳丘盛土が墓地造成時の削平により平坦化されたものと考えられる。また、2～4トレンチの造成土では、真砂土の状況に相違が認められた。平坦地の隅部で比較すると、北側の2トレンチでは厚さ20cm程の真砂土が認められるのに対し、4トレンチでは僅かに傾斜面で認められ、南端の3トレンチには真砂土が認められない。全体として前方部上の墓地造成に伴う真砂土が北側に厚く施されたことを示すものである。

以上のように、本調査は狭小なものであったが、これまで調査が及んでいなかった恵解山古墳の墓地への切り通し傾斜面（後円部東側）、墓地傾斜面と平坦地（前方部東側）という範囲で調査を実施し、いずれの調査区でも墳丘盛土を確認することができた。現況地形と古墳本来の墳丘盛土の関係を明らかにしたことで、今後の古墳環境の保全に資する成果が得られたと考える。

注) 岩崎 誠 他『国史跡恵解山古墳の調査』『長岡京市報告書』第62冊 2012年

中尾芳治・岩崎 誠『史跡 恵解山古墳保存・整備事業報告書』『長岡京市報告書』第67冊 2015年

第2章 長岡京市内遺跡詳細分布調査概要

1 はじめに

- 1 本報告は、令和4(2022)年度の令和4年12月1日から令和5年3月31日までの下期と、令和5(2023)年度の令和5年4月1日から11月30日までの上期に実施した詳細分布調査の成果である。よって、令和5年12月1日から令和6年3月31日までの成果については、次年度に報告するものとする。また、令和4年4月1日から11月30日までに実施した詳細分布調査は『長岡京市文化財調査報告書』第80冊で、原因者負担金によって実施した立会調査については『長岡京市埋蔵文化財センター年報』令和4年度で、それぞれ報告している。
- 2 調査は、令和4・5年度国庫補助事業として長岡京市教育委員会が主体となり、長岡京市教育委員会から委託を受けた公益財団法人長岡京市埋蔵文化財センターが実施したものである。
- 3 調査にあたっては、工事の申請者や土地所有者をはじめ、工事施工業者の方々に種々のご理解とご協力を賜った。現地調査は、中島皆夫、山下 研、大高義寛、鈴木知怜、山本輝雄、原秀樹、白川成明、関 喜多、猿向敏一が担当した。本報告の執筆は、猿向が担当した。

2 調査概要

詳細分布調査は、基本的に長岡京市内における土木開発事業に伴い実施したものである。このことから、そのほとんどが建築面積の小規模な個人住宅の建設に伴うものであり、ほかに集合住宅や宅地造成工事などといった開発事業にも伴って実施した。さらに、長岡京市が実施する公共事業についても、原因者負担事業として実施した上下水道事業を除き、随時実施している。また、詳細分布調査は、その調査件数はもちろんのこと、その調査地点は長岡京市全域に広がっており、この詳細分布調査によって得られた成果は、文化財保護との共存を図りながら市内における開発事業を進めるにあたって、貴重で不可欠な情報となっている。

今回報告する令和4年度の下期に実施した調査は94件、令和4年度の総計は283件となっている。また、令和5年度の令和5年11月30日までに実施した調査件数は199件である。調査の対象となった遺跡は、長岡京跡をはじめ、北から井ノ内遺跡、井ノ内古墳群、今里遺跡、陶器町遺跡、開田古墳群、開田城ノ内遺跡、開田遺跡、十三遺跡、明星野遺跡、神足遺跡、勝龍寺城跡、雲宮遺跡、谷田瓦窯群、下海印寺遺跡、友岡遺跡、野手遺跡、鞆岡廃寺、南栗ヶ塚遺跡、久保古墳群、伊賀寺遺跡、脇山遺跡など市内の多くの遺跡がその対象となっており、長岡京外となる一部の遺跡を除きそのすべての遺跡が長岡京跡と重複している。しかし、長岡京跡としてみると、長岡京市の西半部にあたる右京域がその大半を占めており、それに対して、名神高速道路・東海道新幹線・国道171号の沿線に広がる工業地帯がその大半を占める長岡京市の東半部の左京域は極めて少ない。

3 主な調査成果

1. 令和4年度の調査

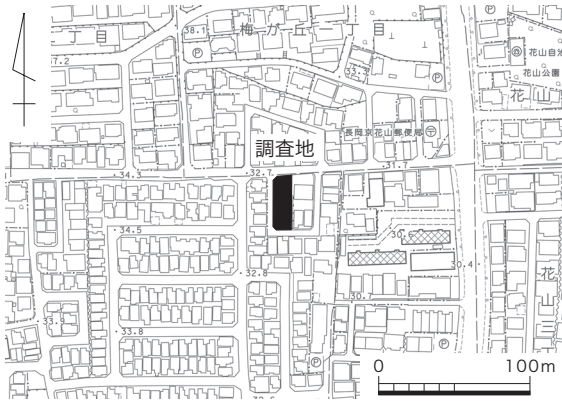
(1) 第220197次調査 (第9・10図)

本調査は、宅地造成工事に伴う下水管新設工事に合わせて実施した。調査地は下海印寺横山に所在し、長岡京の条坊復原では右京七条三坊十一町に該当するほか、友岡遺跡の範囲にも含まれる。調査地の標高は32.0 m程で、地形分類では、犬川と小畑川に挟まれた低位段丘Iを穿つ開析谷の始点に位置する。

調査は、令和4年12月12・13・15日に実施した。地表下1.5～2.1 m程の掘削。地表下0.6～1 m程の盛土直下で黄褐色粘質土層、暗褐色粘質土層、そして、暗赤褐色粘土層・砂礫層の地山層を確認した。

(2) 第220207次調査 (第11・12図)

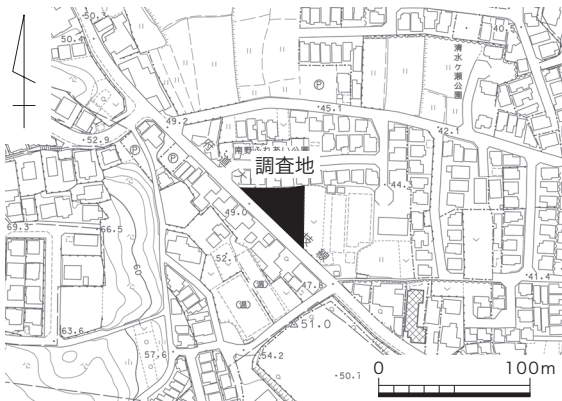
本調査は、宅地造成工事に伴い実施した。調査地は長法寺南野に所在し、長岡京の条坊復原では右京五条四坊九町に該当するほか、長法寺遺跡にも含まれる。調査地の標高は48.4 m前後。地形分類では、犬川が形成した段丘を覆う扇状地上に位置する。長法寺遺跡は、これまでのいくつかの調査によって部分的に確認された扇状地の東斜面に形成された弥生時代後期前葉を中心とする環濠集落であることが判明している。



第9図 第220197次調査地位置図 (1/5000)



第10図 第220197次調査 土層断面 (西から)



第11図 第220207次調査地位置図 (1/5000)



第12図 第220207次調査 検出状況 (東から)

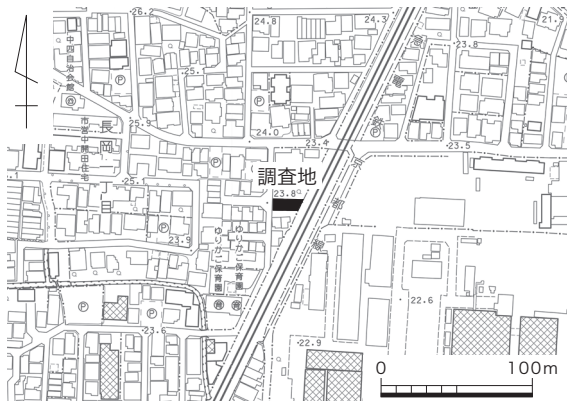
調査は、令和4年12月21～23日に実施した。基礎工事の掘削は、地表下0.6 mまで行われた。土層層序的には、基本的に表土層である耕作土とその下の地山層を確認した。敷地北東隅での観察では、層厚0.15 mの茶灰褐色粘質土の耕作土直下、層厚0.3 m程の黄橙褐色粘質土層、層厚0.15 mの明黄褐色シルトの地山を確認した。そして、この地山層を穿つ茶褐色粘質土の遺構を確認した。この茶褐色粘質土層を埋土とする遺構は、工事掘削幅1.5 m範囲内で最大8.7 mの広がりを持つことが判明した。

今回の調査では、長岡京跡に係わる遺構・遺物は確認できなかった。ただ、確認された遺構については、状況的に前述の長法寺遺跡の環濠の一部である可能性も考えてよいのかもしれない。

(3) 第220249次調査(第13・14図)

本調査は、個人の住宅建設工事に伴い実施した。調査地は長岡一丁目に所在し、長岡京の条坊復原では右京五条二坊七町に該当するほか、開田古墳群の範囲にも含まれる。標高は24.2 m前後で、地形分類では小畑川と犬川に挟まれた低位段丘I上に位置する。

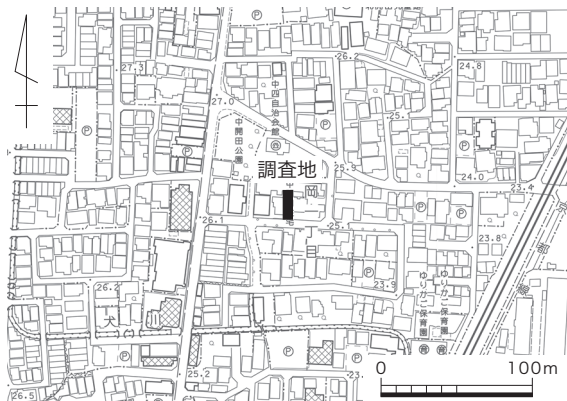
調査は、令和5年2月20・27日に実施した。基礎工事の掘削は、地山層までの地表下0.5 m前後まで行われた。土層層序的には、削平された地表下0.5 mの盛土直下で黄褐色粘質土層の地山層を確認した。そして、この地山層を掘り込んだ炭を多く含んだ暗茶褐色粘質土を埋土とする遺構を2ヶ所検出した。径0.3 m程を測る平面円形の柱穴と思われる。残念ながら、ともに遺物の出土は確認できなかった。



第13図 第220249次調査地位置図(1/5000)



第14図 第220249次調査 検出状況(西から)



第15図 第220271次調査地位置図(1/5000)



第16図 第220271次調査 土層断面(東から)

(4) 第 220271 次調査 (第 15・16 図)

本調査は、個人の住宅建設工事に伴い実施した。調査地は長岡一丁目に所在し、長岡京の条坊復原では右京五条二坊十町に該当する。調査地の標高は 26.0 m 程で、地形分類では小畑川と犬川に挟まれた低位段丘 I 上に位置する。

調査は、令和 5 年 3 月 17 日に実施した。基礎工事の掘削は、地表下 0.8 m まで行われた。土層層序的には、地表下 0.4 m 程の盛土直下で明赤褐色シルト層の地山を確認した。そして、この地山層を穿つ黒褐色砂質シルト層が認められたが、土層断面でも明瞭な掘形を確認することはできなかった。ただ、上層部は大きく攪乱を受けていることや明らかな土色の違いから、遺物包含層ではなくこの黒褐色砂質シルト層を埋土とする遺構の残欠と判断してよいかもしれない。

2. 令和 5 年度の調査

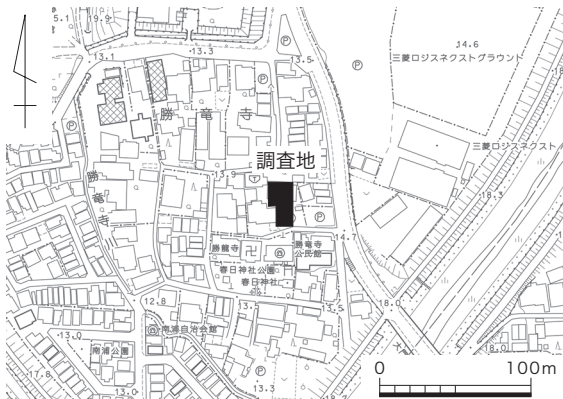
(1) 第 230065 次調査 (第 17・18 図)

本調査は、開発工事着手前の基礎コンクリートなどの地下埋蔵物の確認の試掘工事に伴い実施した。調査地は勝竜寺に所在し、長岡京の条坊復原では右京七条一坊五町に該当するほか、中世勝龍寺城跡の範囲にも含まれる。標高は 14 m 前後で、地形分類では小畑川と犬川の後背低地に挟まれた低位段丘 II の先端部に位置する。試掘工事は、敷地内に幅 1.5 ~ 2 m、長さ 11 m、深さ 1 m 程の 5 つの試掘溝を掘削するとのことであったことから、立会調査についても、工事期間に合わせ、令和 5 年 6 月 21・22・23・26・27 日の 5 日間実施した。

調査成果としては、大局的には敷地内の北端部のみ地表下 0.3 ~ 0.4 m 程で、鉄分を含む黄灰色粘質シルト層などの地山を穿つ黒褐色土層を埋土とする時期不明の土坑・溝などが見られた。しかしながら、試掘溝のほとんどは、旧構造物建築時などにより大きく攪乱を受けており、特に南半部に至っては、近・現代の厚い整地土の堆積が確認できた。

(2) 第 230070 次調査 (第 19・20 図)

本調査は、個人の木造住宅建設工事に伴い実施した。調査地は神足一丁目に所在し、長岡京の条坊復原では右京六条一坊十一町に該当する。調査地は標高 18.5 m 前後の宅地で、地形分類では、北西から南東方向に緩やかに傾斜する低位段丘 I 上に位置する。



第 17 図 第 230065 次調査地位置図 (1/5000)



第 18 図 第 230065 次調査 検出状況 (東から)

調査は、令和5年6月28日に実施した。基礎工事は、建物範囲全面において地表下0.5mまでの掘削が行われた。土層層序的には、現表土直下0.1m程で層厚0.3m程の暗灰色砂質土層・暗黄灰色粘質土層の旧耕作土層を、地表下0.4mで黄橙色砂礫土層の地山を確認したことから、既に大きく削平を受けていることが判断できた。しかしながら、対象地の北端部で検出長7.6m、検出幅2.7mを測る落ち込みを確認することができた。炭・土器細片を含む暗茶褐色粘質土を埋土とするもので、地山を穿った幅の広い溝状遺構である。遺物は小片ながら、概ね長岡京期を中心とするものと思われる土師器の皿・高杯の脚部片などのほか、製塩土器やスサ入りの擁壁小片なども採取することができた。

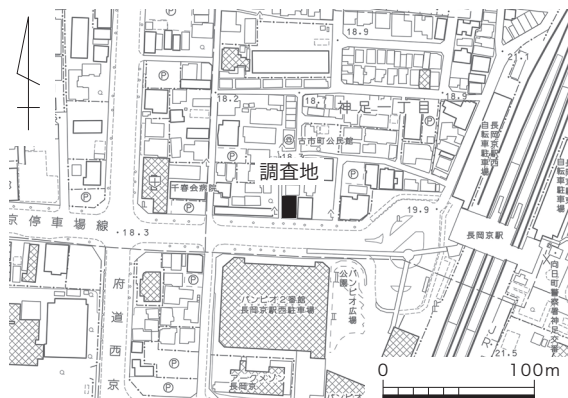
本調査の南側は、JR西日本京都線の長岡京駅西口地区の市街地再開発事業に基づく、長岡京駅前線の道路拡幅工事に伴う調査として、平成16年度に連続的に発掘調査が実施されている。今回の調査成果については、本調査地と南接する右京第836次調査^(注)で得ることのできた遺構・遺物の広がりを確認したと判断してよいだろう。

以上、令和4(2022)年度の令和4年12月1日から令和5年3月31日までの下期と、令和5(2023)年度の令和5年4月1日から令和5年11月30日までの上期に実施した詳細分布調査について報告した。

令和5年度(4月～11月度)の立会調査では、上記2件の調査以外にも、遺構・遺物の確認はできなかったものの、第230008次調査、第230009次調査、第230084次調査、第230121次調査のように、現表土下0.2～0.3m程の盛土直下に、比較的良好に旧地形の土層層序が残存している箇所もあり、比較的攪乱の影響が少ない未知の遺構が残存していることが期待できる情報を得ることができている。

前述の通り、詳細分布調査は、その調査件数はもちろんのこと、その調査地点は長岡京市全域に広がっており、この詳細分布調査によって得られた成果は、文化財保護との共存を図りながら市内における開発事業を進めるにあたって、不可欠で貴重な情報となっている。今後とも、開発事業者のご理解とご協力を得て、基本的な情報の収集を図っていきたい。

注) 山本輝雄 「長岡京跡右京第836次調査概要」『長岡京市センター報告書』第44集 2005年



第19図 第230070次調査地位置図(1/5000)



第20図 第230070次調査 検出状況(北西から)

付表-2 長岡京市内遺跡詳細分布調査一覧表-1 (令和4年12月～令和5年3月)

調査 次数	遺 跡 名	所 在 地	工事内容	調 査 日	調 査 概 要
220190	長岡京跡右京七条三坊	花山一丁目	木造2階建	12月1日	GL-0.2mの掘削。盛土のみを確認。
220191	長岡京跡右京五条二坊	長岡一丁目	鉄骨3階建	12月5日	GL-0.3mの掘削。盛土のみを確認。但し、一部で黄褐色土層の地山を確認。
220192	祭ノ神遺跡 長法寺遺跡	長法寺祭ノ神	護岸工事	12月6～9・12日 2023年1月17日	山側、竹・樹木の伐根作業。明褐色粘質土層に礫が混じる。GL-1mの掘削。表土、淡黄褐色粘質土層の下、GL-0.3mで明黄褐色粘質土層の地山。新池西岸傾斜面の掘削。大阪層群の粘土層を確認。GL-1.9m以上の掘削。黄褐色粘質土層に礫が混じる。仮設道路工事に伴う掘削は終了。これまでの観察では、丘陵裾部分の地山が確認された。また、工事対象外の池波打ち際の丘陵裾底部分にも土器などは見られなかった。
220193	長岡京跡右京五条四坊 東代遺跡	天神三丁目	木造2階建	12月8日	GL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。
220194	長岡京跡右京六条三坊 開田城ノ内遺跡 十三遺跡	天神一丁目	木造3階建	12月8日	GL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。
220195	長岡京跡右京八条三坊 友岡遺跡	友岡四丁目	木造1階建	12月9日	GL-0.3mの掘削。盛土のみを確認。
220196	下海印寺遺跡	奥海印寺駿河田	木造2階建	12月9日	GL-0.1mの掘削。盛土のみを確認。
220197	長岡京跡右京七条三坊 友岡遺跡	下海印寺横山	宅地造成	12月12・13・ 15日	本文中に内容を掲載。
220198	長岡京跡右京四条二坊 陶器町遺跡	長岡三丁目	木造2階建	12月12日	GL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。
220199	長岡京跡右京七条四坊 下海印寺遺跡	奥海印寺森の下	木造2階建	12月15日	GL-0.3mの掘削。盛土のみを確認。
220200	長岡京跡右京四条一坊	一文橋二丁目	木造2階建	12月15日 2023年1月11日	柱状地盤改良工事、GL-0.3mまでの盛土以下、GL-0.9mまで暗灰色シルト層を確認。基礎工事、GL+0.5mの嵩上げ後、GL-0.25mの掘削。盛土のみを確認。
220201	長岡京跡右京三条四坊 今里遺跡	今里彦林	木造2階建	12月15日	GL-0.8mの掘削。盛土のみを確認。
220202	長岡京跡右京七条四坊 下海印寺遺跡	下海印寺西条	木造2階建	12月16日	GL-0.1mの掘削。盛土のみを確認。
220203	長岡京跡右京三条三坊 今里遺跡 更ノ町遺跡	今里更ノ町	鉄骨2階建	12月19日	擁壁工事、GL-0.7mの掘削。盛土のみを確認。
220204	長岡京跡右京三条三坊 今里遺跡 更ノ町遺跡	今里更ノ町	鉄骨2階建	12月19日	擁壁工事に伴う杭打作業。盛土のみを確認。
220205	長岡京跡右京四条一坊 ・二坊 西一坊大路	野添一丁目地内	歩道改修	12月20～22日 2023年1月5・ 6・17・26日 2月3・13・24・ 27日 3月10・16日	GL-0.7mの掘削。コンクリートブロック直下に灰褐色シルト層が残る部分あり。既存緑石撤去作業、GL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。GL-0.8mの掘削。GL-0.5mまでが道路とその盛土。以下、灰白色粘土混じりの黄灰色粘土層の地山を確認。GL-0.6mの掘削。GL-0.5mまではクラッシャー、以下は丘陵系の礫包黄褐色粘質土層の盛土。いずれも道路基盤盛土。GL-0.7m、一部GL-1.2mの掘削。GL-0.9mで旧層序の灰色粘土層を確認。既設側溝の除去工事、GL-0.5～0.8mの掘削。道路直下盛土のみを確認。
220206	長岡京跡右京三条三坊 今里遺跡	今里四丁目	木造2階建	12月20日	GL-0.3mの掘削。盛土のみを確認。

調査 回数	遺 跡 名	所 在 地	工事内容	調 査 日	調 査 概 要
220207	長岡京跡右京五条四坊 長法寺遺跡	長法寺南野	宅地造成	12月21～23日	本文中に内容を掲載。
220208	長岡京跡右京三条三坊 今里遺跡 更ノ町遺跡	今里更ノ町	鉄骨2階建	12月21日	GL-0.15mの掘削。盛土のみを確認。
220209	長岡京跡右京三条三坊 今里遺跡 更ノ町遺跡	今里更ノ町	鉄骨2階建	12月21日	GL-0.15mの掘削。盛土のみを確認。
220210	長岡京跡右京三条三坊 今里遺跡 更ノ町遺跡	今里更ノ町	鉄骨2階建	12月21日	柱状地盤改良工事、土層観察は不可。
220211	長岡京跡関連遺跡 弁天芝遺跡	粟生北開	木造2階建	12月23日	GL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。
220212	長岡京跡右京三条四坊 今里遺跡	今里彦林	木造2階建	12月23日	GL-0.5mの掘削。耕作土直下のGL-0.35mで黄 茶色粘質土層を確認。
220213	長岡京跡右京七条一坊 神足遺跡 勝龍寺城跡(中世)	神足二丁目	木造2階建	12月26日	GL-0.5mの掘削。盛土のみを確認。
220214	長岡京跡右京三条二坊	今里樋ノ尻	木造2階建	12月28日	GL-0.4mの掘削。掘削深度-0.35mの盛土直下で 黄褐色シルト土層の地山を確認。
220215	長岡京跡右京六条四坊 西三坊大路	天神三丁目	木造2階建	2023年1月5日	GL-0.15m、一部GL-0.5mの掘削。黄橙色粘土 層の丘陵系地山を確認。
220216	長岡京跡右京五条三坊	長岡二丁目	木造2階建	1月11日	GL-0.05m、一部GL-0.4mの掘削。盛土のみを 確認。
220217	長岡京跡右京五条二坊	長岡一丁目	木造2階建	1月12日	GL-0.2mの掘削。盛土直下で、旧地形の土層層序 の暗茶褐色粘質土層を確認。
220218	長岡京跡右京五条二坊	長岡一丁目	木造2階建	1月12日	GL-0.3mの掘削。GL-0.15mまでのコンクリー ト碎石・旧表土直下、暗茶灰色粘質土層の堆積が 見られた。表土直下の堆積層と見られる。
220219	長岡京跡右京四条二坊	柴の里	鉄骨2階建	1月12・17日	柱状地盤改良工事、黄橙色粘性砂土層の盛土を確 認。下層の土層観察は不可。 基礎工事、GL-0.2m、一部GL-0.9mの掘削。柱 状地盤改良工事面のGL-0.2mの掘削、丘陵系の 礫包含黄橙色粘質土層の盛土を確認。一部、GL-0.8 mで暗灰色粘質土層の旧耕作土を確認。
220220	長岡京跡右京八条三坊	下海印寺伊賀寺	木造2階建	1月12日	基礎工事済、土層観察は不可。
220221	長岡京跡右京八条三坊 友岡遺跡 鞆岡廃寺	友岡山王	木造2階建	1月13日	GL+0.35mの嵩上げ後、GL-0.4mの掘削。盛土・ 旧表土を確認。
220222	長岡京跡右京八条三坊 友岡遺跡 鞆岡廃寺	友岡山王	木造2階建	1月13日	GL+0.35mの嵩上げ後、GL-0.15mの掘削。盛土 のみを確認。
220223	下海印寺遺跡	奥海印寺駿河田	木造2階建	1月16日	GL-0.2mの掘削。盛土のみを確認。
220224	長岡京跡左京六条二坊 雲宮遺跡	神足拾式	鉄骨1階建	1月17日	改良剤による表層改良工事、GL-0.5～0.8mの掘 削。GL-0.3mは畔・耕作土、GL-0.3～0.7mは 鉄分を含む灰白色粘質土層、GL-0.7m以下は鉄分 を含む灰色粘土層。
220225	長岡京跡右京七条四坊 下海印寺遺跡	下海印寺方丸	木造2階建	1月20日	GL-0.2～0.5mの掘削。盛土直下のGL-0.2mで 茶褐色礫混じり土層の堆積を確認。
220226	長岡京跡右京五条一坊	馬場二丁目	木造2階建	1月24日	GL-0.65mの掘削。コンクリート碎石の基礎工事 済。盛土のみを確認。

16 主な調査成果

調査 次数	遺 跡 名	所 在 地	工事内容	調 査 日	調 査 概 要
220227	長岡京跡右京三条四坊	今里彦林	木造2階建	1月26日	GL-0.35 m、一部 GL-0.45 mの掘削。盛土のみを確認。
220228	長岡京跡右京五条二坊 開田古墳群	長岡一丁目	木造2階建	1月26日	GL-0.4 mの掘削。GL-0.1 mで旧表土の暗茶褐色粘質土層を確認。
220229	長岡京跡右京八条四坊 西四坊坊間小路 脇山遺跡	泉が丘	鉄骨2階建	1月30日	GL-1 mの掘削。碎石・攪乱土直下 GL-0.2 mで、 橙色粘質土層の地山を確認。
220230	長岡京跡左京八条一坊 朱雀大路	城の里	木造3階建	1月30日	GL-0.7 mの掘削。盛土のみを確認。
220231	長岡京跡右京二条二坊	西の京	木造2階建	1月31日	GL-0.7 mの掘削。GL-0.2 mまでは盛土。GL-0.2 m以下は赤茶褐色砂礫土層の地山を確認。
220232	長岡京跡右京二条四坊 井ノ内遺跡 井ノ内古墳群	井ノ内小西	木造2階建	2月1日	GL-0.2 mの掘削。表土の暗茶褐色土層のみを確認。
220234	長岡京跡右京六条四坊 下海印寺遺跡	奥海印寺岡本	木造2階建	2月6日	GL-0.45 mの掘削。盛土のみを確認。
220235	長岡京跡右京六条四坊 下海印寺遺跡	奥海印寺岡本	木造2階建	2月9日	GL-0.3 mの掘削。盛土のみを確認。
220236	長岡京跡右京六条四坊 西四坊大路 下海印寺遺跡	奥海印寺岡本	木造2階建	2月9日	GL-0.35 mの掘削。盛土のみを確認。
220237	長岡京跡右京七条四坊	梅が丘三丁目	木造1階建	2月9・28日	鋼管杭柱状地盤改良工事、道路面より2 m程の盛 土に施工。GL-0.3 m程観察。盛土のみを確認。 基礎工事、GL-0.45 mの掘削。黄色砂礫土層の盛 土層を確認。
220238	長岡京跡右京二条三坊 西三坊坊間西小路	井ノ内南内畑	木造2階建	2月13日	GL-0.4 mの掘削。GL-0.2 mまでは盛土。盛土下 に暗茶褐色弱粘質土層を確認。
220239	長岡京跡右京四条一坊 西一坊大路 三条大路	柴の里	木造2階建	2月13日	柱状地盤改良工事、土層観察は不可。
220240	長岡京跡（長岡宮）	滝ノ町二丁目	木造2階建	2月14日	GL-0.5 mの掘削。盛土のみを確認。
220241	長岡京跡左京六条一坊 六条条間小路	東和苑	木造3階建	2月14日	宅地東側の1 m程の嵩上げされている部分のみ改 良剤による表層改良工事を実施。GL-1.8 mの掘 削。GL-1.4 mまでは盛土。以下、暗灰色粘土層な どの旧土層層序を確認。
220242	長岡京跡右京六条四坊	奥海印寺坂ノ尻	歩道改修	2月17・21・27日 3月2日	GL-1.1 ~ 1.5 mの掘削。盛土のみを確認。
220243	長岡京跡右京二条二坊 二条条間北小路	滝ノ町二丁目	木造2階建	2月17日	GL-0.3 mの掘削。盛土のみを確認。
220244	長岡京跡（長岡宮）	滝ノ町二丁目	木造2階建	2月17・20日	鋼管杭柱状地盤改良工事、GL-3 ~ 6 mの打ち込み。 土層観察は不可。 基礎工事、GL-0.2 m、一部 GL-0.3 mの掘削。盛 土のみを確認。
220245	長岡京跡右京五条二坊 明星野遺跡	長岡一丁目	木造2階建	2月17日	GL-0.2 mの掘削。盛土のみを確認。
220246	長岡京跡右京五条二坊 明星野遺跡	長岡一丁目	木造2階建	2月17日	GL-0.4 mの掘削。盛土のみを確認。
220247	長岡京跡右京五条二坊	長岡一丁目	木造2階建	2月17日	GL-0.6 mの掘削。盛土のみを確認。
220248	下海印寺遺跡	下海印寺駿河田	木造2階建	2月17・28日	柱状地盤改良工事、GL-3.5 mの掘削。土層観察は 不可。 基礎工事、GL-0.1 mの掘削。柱状改良杭レベルま での削平。盛土のみを確認。

調査 次数	遺 跡 名	所 在 地	工事内容	調 査 日	調 査 概 要
220249	長岡京跡右京五条二坊 開田古墳群	長岡一丁目	木造2階建	2月20・27日	本文中に内容を掲載。
220250	長岡京跡右京五条一坊	一文橋一丁目	木造2階建	2月21日	GL-0.5 mの掘削。盛土のみを確認。
220251	長岡京跡左京七条一坊 ・二坊	神足芦原	鉄骨2階建	2月22・28日 3月8・13・30日	A区、GL-0.9～1.5 m、一部GL-2～3.5 mの掘削。盛土のみを確認。
220252	長岡京跡右京六条二坊 開田遺跡	開田四丁目	木造2階建	2月27日	GL-0.5 mの掘削。盛土のみを確認。
220253	長岡京跡右京二条二坊	滝ノ町二丁目	木造2階建	2月28日	GL-0.3 mの掘削。盛土のみを確認。
220254	長岡京跡右京四条四坊 今里遺跡	うぐいす台	木造2階建	3月3日	GL-0.4 mの掘削。盛土のみを確認。
220255	長岡京跡右京五条二坊	長岡一丁目	木造2階建	3月6日	GL-0.3 mの掘削。盛土のみを確認。
220256	長岡京跡右京七条四坊	下海印寺西条	木造2階建	3月6日	GL-0.4 mの掘削。盛土のみを確認。
220257	長岡京跡右京七条三坊	花山三丁目	木造2階建	3月6日	GL+0.75 mの嵩上げ工事。
220258	長岡京跡右京三条三坊	今里四丁目	木造2階建	3月6日	GL-0.25 mの掘削。盛土のみを確認。
220259	長岡京跡右京三条三坊	今里更ノ町	鉄骨2階建	3月7日	柱状地盤改良工事、GL-4 mの掘削。土層観察は不可。
220260	長岡京跡右京六条一坊	神足二丁目	電気線埋設	3月7日	GL-0.5 mの掘削。盛土のみを確認。
220261	長岡京跡右京七条四坊	下海印寺下川向	看板設置	3月9日	GL-0.9 mの掘削。盛土直下GL-0.3 mで、黒灰色粘質土層、茶褐色砂礫層を確認。
220262	長岡京跡左京六条一坊	神足屋敷	宅地造成	3月10・13日	道路側溝部分GL-0.6 mの掘削。盛土のみを確認。 GL-1.5 mの掘削。盛土のみを確認。
220263	長岡京跡右京六条三坊 西三坊大路 東代遺跡	天神三丁目	木造2階建	3月13日	GL-0.5 mの掘削。盛土のみを確認。
220264	長岡京跡右京五条三坊	天神四丁目	アース線設置	3月13日	GL-0.2 mの掘削。盛土のみを確認。
220265	長岡京跡右京七条二坊	友岡二丁目	木造2階建	3月14日	GL-0.2 mの掘削。盛土のみを確認。
220266	長岡京跡右京六条四坊	天神三丁目	木造2階建	3月15日	GL-0.3 mの掘削。掘削底で黄褐色土層の地山を確認。
220267	長岡京跡右京六条四坊	天神三丁目	木造2階建	3月15日	GL-0.2 mの掘削。盛土のみを確認。
220268	長岡京跡右京四条二坊 四条条間南小路	長岡一丁目	宅地造成	3月15日	GL-0.8 mの掘削。GL-0.4 mで耕作土、GL-0.6 mで礫混じり黄褐色土層の地山を確認。
220269	長岡京跡右京五条二坊 開田城ノ内遺跡	長岡一丁目	木造2階建	3月15日	GL-0.2 mの掘削。礫混じり黄褐色土層の地山を確認。
220270	長岡京跡左京八条一坊 七条大路	城の里	木造2階建	3月16日	GL-0.5 mの掘削。盛土のみを確認。
220271	長岡京跡右京五条二坊	長岡一丁目	鉄骨2階建	3月17日	本文中に内容を掲載。

18 主な調査成果

調査 次数	遺 跡 名	所 在 地	工事内容	調 査 日	調 査 概 要
220272	長岡京跡右京六条一坊 神足遺跡 近世勝龍寺城跡 開田古墳群	神足一丁目	鉄骨2階建	3月20日	GL-0.3 mの掘削。盛土のみを確認。
220273	長岡京跡右京五条三坊 五条条間北小路	長岡二丁目	木造2階建	3月20日	GL-0.4 mの掘削。盛土のみを確認。
220274	長岡京跡右京七条四坊 下海印寺遺跡	下海印寺西条	木造2階建	3月24日	GL-0.3 mの掘削。盛土のみを確認。
220275	長岡京跡右京二条二坊 西二坊坊間西小路 今里遺跡	井ノ内下印田	木造2階建	3月24日	GL-0.2 mの掘削。盛土のみを確認。
220276	長岡京跡右京八条二坊 七条大路	緑ヶ丘	木造2階建	3月24日	GL-0.4 mの掘削。盛土のみを確認。
220277	長岡京跡右京五条二坊 開田古墳群	長岡一丁目	木造2階建	3月27日	GL-0.6 mの掘削。盛土のみを確認。
220278	長岡京跡関連遺跡	下海印寺西山田	木造2階建	3月27日	GL-0.25 mの掘削。盛土のみを確認。
220279	長岡京跡右京六条四坊	奥海印寺岡本	木造2階建	3月27日	GL-0.35 mの掘削。盛土のみを確認。
220280	長岡京跡関連遺跡	下海印寺西山田	木造2階建	3月27日	GL-0.3 mの掘削。盛土のみを確認。
220281	長岡京跡右京七条一坊 近世勝龍寺城跡 神足遺跡	東神足二丁目	耐震補強工 事	3月28日	基礎工事済、側溝設置箇所 でGL-0.7 mまで盛土 を確認。
220282	長岡京跡関連遺跡	下海印寺西山田	木造2階建	3月28日	GL-0.3 mまでの掘削。盛土のみを確認。
220283	長岡京跡右京五条四坊	今里南平尾	鉄骨2階建	3月30日	鋼管杭柱状地盤改良工事、 GL-5mの掘削。茶褐色 粘質土層と黄橙色粘質土層 の混じり土がサンプリ ングで上がっていた。

付表-3 長岡京市内遺跡詳細分布調査一覧表-2 (令和5年4月～11月)

調査 回数	遺 跡 名	所 在 地	工事内容	調 査 日	調 査 概 要
230001	長岡京跡右京四条四坊	長法寺中畠	木造1階建	4月4・5日	柱状地盤改良工事、GL-1.9mの掘削。GL-1mまでの盛土直下で、旧地形の土層層序を確認。基礎工事、GL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。
230002	長岡京跡右京三条三坊 今里遺跡 更ノ町遺跡	今里更ノ町	鉄骨2階建	4月4日	GL-0.8mの掘削。コンクリート砕石の盛土のみを確認。
230003	長岡京跡右京三条三坊 今里遺跡 更ノ町遺跡	今里更ノ町	鉄骨2階建	4月4日	GL-0.4m、一部GL-1mの掘削。コンクリート砕石の盛土のみを確認。
230004	長岡京跡右京四条四坊	うぐいす台	木造2階建	4月5日	GL-0.8mの掘削。GL-0.65mで旧耕作土の暗灰色粘質土層を確認。
230005	長岡京跡右京四条三坊	長岡三丁目	鉄骨2階建	4月10日	GL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。
230006	長岡京跡右京八条一坊	勝竜寺	木造3階建	4月10日	GL-0.5mの掘削。盛土のみを確認。
230007	長岡京跡右京七条四坊	梅が丘三丁目	木造2階建	4月11日	傾斜地、最大GL+1.6mの嵩上げ。GL-0.2mの掘削。盛土のみを確認。
230008	長岡京跡左京六条二坊	神足雲宮	木造2階建	4月12日	GL-0.25m、一部-0.5mの掘削。GL-0.4mまでは黄灰色砂礫土層の盛土。以下は、旧表土の暗灰褐色粘質土層を確認。
230009	長岡京跡右京七条二坊	緑が丘	木造2階建	4月12・14日	柱状地盤改良工事、GL-1.5～2mの掘削。道路面より+0.3mの嵩上げ。GL-0.3mまでは盛土。下層の土層観察は不可。基礎工事、GL-0.4mの掘削。GL-0.3mまでは盛土。直下で暗灰色粘質土層の旧表土を確認。
230010	長岡京跡右京四条二坊 四条条間南小路	野添一丁目	木造2階建	4月14日	柱状地盤改良工事済。GL-0.2m、一部GL-0.3mの掘削。盛土のみを確認。
230011	長岡京跡右京四条一坊	一文橋一丁目	鉄骨2階建	4月17日	GL-0.2mの掘削。盛土のみを確認。
230012	長岡京跡右京八条四坊	泉が丘	木造2階建	4月18日	道路面より+1.2～1.8mの嵩上げ。GL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。
230013	長岡京跡右京四条一坊	一文橋一丁目	鉄骨2階建	4月19日	柱状地盤改良工事済、GL-0.3～0.4mの掘削。盛土のみを確認。
230014	長岡京跡右京六条三坊	天神一丁目	木造3階建	4月19日	下水管確認工事、GL-1.2mの掘削。GL-0.6mまでの盛土直下で、茶褐色砂礫土層の地山を確認。
230015	長岡京跡左京六条二坊	神足雲宮	木造2階建	4月20日	基礎工事済、土層観察は不可。
230016	長岡京跡左京五条一坊	馬場川原	鉄筋2階建	4月21日	柱状地盤改良工事、GL-4.2mの掘削。表土層の盛土層のみを確認。
230017	長岡京跡右京七条一坊 神足遺跡 中世勝龍寺城跡	東神足二丁目	鉄骨3階建	4月24日	基礎工事済、GL-0.4～0.5m程の掘削。盛土のみを確認。
230018	長岡京跡右京二条二坊 西二坊坊間小路	滝ノ町二丁目	鉄骨2階建	4月27日	GL-0.3m、一部-0.6mの掘削。盛土のみを確認。
230019	長岡京跡右京七条三坊 友岡遺跡	友岡一丁目	鉄骨1階建	4月27日	GL-0.25mの掘削。盛土のみを確認。
230020	長岡京跡右京六条一坊 神足遺跡 近世勝龍寺城跡	東神足二丁目	鉄骨1階建	5月1・2日	GL-0.9mの掘削。盛土のみを確認。

20 主な調査成果

調査 次数	遺 跡 名	所 在 地	工事内容	調 査 日	調 査 概 要
230021	長岡京跡左京六条二坊 雲宮遺跡	神足雲宮	木造 2 階建	5 月 8 日	基礎工事済、土層観察は不可。
230022	奥海印寺遺跡	奥海印寺八戸木	宅地造成	5 月 8 日	GL-0.2m の掘削。盛土のみを確認。
230023	奥海印寺遺跡	奥海印寺野辺田	木造 2 階建	5 月 9・17 日	改良剤による表層改良工事、GL-0.9m の掘削。敷地外周のコンクリート擁壁に沿ってコンクリート基礎までの掘削。盛土のみを確認。 GL+0.5m の嵩上げ後、GL-0.15m の掘削。盛土のみを確認。
230024	長岡京跡右京七条二坊 友岡遺跡 野手遺跡	友岡二丁目	木造 2 階建	5 月 9 日	GL+0.4m の嵩上げ後、GL-0.25m の掘削。盛土のみを確認。
230025	長岡京跡左京六条一坊	神足麦生	木造 3 階建	5 月 12 日	GL-0.25m、一部 GL-0.35m の掘削。盛土のみを確認。
230026	長岡京跡左京六条二坊 雲宮遺跡 柵次遺跡	神足典業	鉄骨 4 階建	5月15・25・31日 6月16日	GL-1.6m の掘削。盛土のみを確認。 北西隅、GL-2m 程の掘削。GL-1.6m までは灰色砂礫土層の盛土。GL-1.6m 以下で、灰色系粘土層と湧水が見られた。旧地形の土層層序と思われる。西部南半部東壁、概ね GL-1.8 m 程までは灰色砂礫土層一層の盛土。直下はコンクリート基礎。 GL-2.2 m の掘削。盛土のみを確認。
230027	長岡京跡右京八条四坊 脇山遺跡	泉が丘	木造 2 階建	5 月 15 日	基礎工事済、一部は GL-1m 程度の掘削。盛土のみを確認。
230028	長岡京跡右京六条三坊 開田城ノ内遺跡	天神一丁目	木造 2 階建	5 月 15・18 日	鋼管杭土壌改良工事、GL-1m は盛土のみを確認。 基礎工事、GL-0.55m の掘削。盛土のみを確認。
230029	長岡京跡右京三条四坊 今里遺跡	今里彦林	木造 2 階建	5 月 15 日	GL-0.9m の掘削。盛土のみを確認。
230030	長岡京跡右京五条二坊 明星野遺跡	長岡一丁目	木造 2 階建	5 月 16 日	GL-0.2m の掘削。盛土のみを確認。
230031	長岡京跡右京五条四坊	今里南平尾	鉄骨 2 階建	5 月 16・24 日	柱状地盤改良工事、GL-7m の掘削。上層の赤茶褐色砂礫土層の盛土のみを確認。 基礎工事、柱状地盤改良工事の杭頭までの GL-0.2 m 掘削。盛土のみを確認。
230032	長岡京跡右京三条二坊	今里貝川	鉄骨 2 階建	5 月 16・22 日	柱状地盤改良工事、上層の灰白色砂礫層の表土層のみを確認。 基礎工事済、土層観察は不可。
230033	長岡京跡右京五条一坊	馬場一丁目	木造 2 階建	5 月 16 日	基礎工事済、GL-0.3m 程の掘削。黄灰色砂礫土層の表土層のみを確認。
230034	長岡京跡右京三条二坊	今里更ノ町	木造 3 階建	5 月 17・22 日	柱状地盤改良工事、GL-3.5m の掘削。改良剤を混入する柱状改良杭（乾式）。上層は盛土のみを確認。 基礎工事、GL-0.4m の掘削。盛土のみを確認。
230035	長岡京跡右京六条四坊 谷田瓦窯群	天神三丁目	木造 2 階建	5 月 19 日	基礎工事済、GL-0.2m 程の掘削。盛土のみを確認。
230036	光明寺古墳群	粟生西条ノ内	その他	5月22・23・24・ 25日	法面擁壁補修工事。準備工。法面に地山の露頭を確認。 防災道路沿い法面擁壁補修工事。側溝玉石除去作業。腐植土直下、地山の黄灰色シルト層を確認。 側溝除去後の法面側の樹木根及び旧法面コンクリート壁の除去作業。一部、幅 0.5～1.5 m 程の法面を観察。橙黄色粘質土層や黄灰色粘土層の地山を確認。 法面の整形削平、最大幅 2 m 程の整形がされていたが、古墳痕跡はうかがえない。赤橙色粘質土層、黄灰白色・赤灰白色粘土層などの丘陵系地山のみを確認。
230037	長岡京跡右京七条二坊	緑が丘	木造 2 階建	5 月 25 日	GL-0.3 m、一部-0.6 m の掘削。盛土のみを確認。 GL-0.3 m の掘削。盛土のみを確認。

調査 次数	遺 跡 名	所 在 地	工事内容	調 査 日	調 査 概 要
230038	長岡京跡右京二条四坊 井ノ内遺跡 井ノ内古墳群	井ノ内小西	木造3階建	5月26日	GL-0.1mの掘削後、GL+0.25m程の嵩上げ。クラッシャー盛土のみを確認。
230039	長岡京跡右京四条三坊 今里遺跡 陶器町遺跡	今里一丁目	鉄骨1階建	5月26日	GL-0.4mの掘削。GL-0.2mの旧耕作土直下で暗茶褐色系粘質土層の土層層序を確認。
230040	長岡京跡関連遺跡	奥海印寺太鼓山	木造2階建	5月29日	GL-0.3m、最深部GL-1.3m。高位段丘面の砂礫層の堆積を確認。
230041	長岡京跡右京四条一坊	一文橋二丁目	木造3階建	5月29日	GL-1m道路側を深く下げる。盛土のみを確認。建物本体部は碎石嵩上げ。
230042	長岡京跡右京五条二坊 開田城ノ内遺跡	長岡二丁目	木造2階建	5月29日	GL-0.15mの掘削。盛土のみを確認。
230043	長岡京跡右京八条四坊 脇山遺跡	泉が丘	木造2階建	5月29日	嵩上げ工事、GL+0.2m程のクラッシャー盛土。掘削なし。
230044	長岡京跡右京九条一坊 宮脇遺跡	久貝三丁目	宅地造成	5月31日	下水設備の基礎掘削。南・西辺際に幅1m、深さ0.25mの溝及び北道路側に0.8×1.5m、深さ0.6mのグリット2カ所。いずれも碎石混じりの丘陵系盛土のみを確認。
230045	奥海印寺遺跡	奥海印寺東条	木造2階建	6月1日	GL-0.25mの掘削。盛土のみを確認。
230046	長岡京跡右京四条三坊 四条大路 陶器町遺跡	長岡三丁目	木造2階建	6月1日	柱状地盤改良工事済。柱頭までGL-0.3mの掘削。丘陵系の盛土のみを確認。
230047	長岡京跡右京五条二坊	長岡二丁目	木造2階建	6月1日	基礎工事済、GL-0.6mの掘削。廃土から盛土のみを確認。
230048	長岡京跡右京四条一坊	一文橋一丁目	鉄骨2階建	6月1日	GL-0.1mの掘削。盛土のみを確認。
230049	奥海印寺遺跡	奥海印寺東条	木造2階建	6月1日	掘削なし。整地後コンクリート碎石+0.1m程の嵩上げ。
230050	長岡京跡右京四条三坊 陶器町遺跡	長岡三丁目	木造3階建	6月5日	基礎工事済、土層観察は不可。
230051	長岡京跡右京五条四坊 長法寺遺跡	長法寺芝端	木造2階建	6月5日	GL+0.5～0.6mの嵩上げ後の掘削。一部GL-0.3mの掘削。盛土のみを確認。
230052	奥海印寺遺跡	奥海印寺八戸木	木造2階建	6月5日	GL+0.2m程クラッシャー盛土。掘削なし。
230053	長岡京跡右京四条二坊	野添一丁目	側溝工事	6月7・21・28日 7月3・7・12日 8月1・8日	GL-0.85mの掘削。GL-0.65mまでが盛土。以下、旧耕作土と思われる暗灰色粘質土層などの旧地形の土層層序を確認。 GL-0.65m、一部GL-0.8mの掘削。旧工事による攪乱を確認。 GL-0.5～0.7mの掘削。道路及びその整地土GL-0.25m直下、盛土のみを確認。
230054	長岡京跡右京四条一坊	一文橋一丁目	木造2階建	6月12日	柱状地盤改良工事、GL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。
230055	長岡京跡右京五条二坊	長岡二丁目	鉄骨2階建	6月12日	GL-0.6mの掘削。盛土のみを確認。
230056	長岡京跡右京七条三坊	下海印寺横山	木造2階建	6月13日	GL-0.3mの掘削。盛土のみを確認。
230057	長岡京跡右京七条三坊 西三坊坊間西小路	下海印寺横山	木造2階建	6月13日	GL-0.3mの掘削。盛土のみを確認。
230058	長岡京跡右京八条一坊 南栗ヶ塚遺跡 南栗ヶ塚古墳	久貝二丁目	木造3階建	6月15日	GL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。

22 主な調査成果

調査 次数	遺 跡 名	所 在 地	工事内容	調 査 日	調 査 概 要
230059	長岡京跡右京六条三坊十三遺跡	天神一丁目	木造2階建	6月15日	北棟：GL+0.55 mの嵩上げ後の改良剤による表層改良工事。掘削なし。
230060	長岡京跡右京六条三坊十三遺跡	天神一丁目	木造2階建	6月15日	南棟：GL+0.55 mの嵩上げ後の改良剤による表層改良工事。掘削なし。
230061	長岡京跡右京三条二坊	今里川原	木造2階建	6月15日	GL-0.15 mの掘削。盛土のみを確認。
230062	長岡京跡右京四条一坊	一文橋二丁目	木造2階建	6月15日	GL-0.2 m、一部GL-0.5 mの掘削。GL-0.2 mまでは盛土。直下は黄灰色粘質土層、黄灰白色砂質土層などの地山層を確認。
230063	長岡京跡右京七条三坊友岡遺跡	花山三丁目	木造2階建	6月20日	GL-0.3 m、一部GL-0.5 mの掘削。盛土のみを確認。
230064	長岡京跡右京七条二坊西二坊坊間東小路開田遺跡	神足三丁目	鉄筋5階建	6月20・23・27日	GL-3 mまでの柱状土壌改良後、柱頭GL-1.75 mまでの掘削。GL-0.6 mまでが盛土。直下層厚0.2 mの暗灰色粘質土層の旧表土。以下、灰色系粘質土層などの地山層を確認。 掘削予定範囲の北から2/5程の掘削。ブルーシート覆いの未着部分の観察では、GL-2 m程の掘削。GL-0.9 m程の盛土直下黄灰色粘土層、灰白色粘土層などの地山部分が見られた。表土等は既に以前に削平されているようである。 掘削予定範囲の南端、GL-2.3 m程の掘削。状況的にこれまでと同じ。掘削底は黄灰色粘土層の地山である。作業中のため詳細な土層観察は不可。
230065	長岡京跡右京七条一坊勝龍寺城跡（中世）	勝竜寺	その他	6月21・22・23・26・27日	本文中に内容を掲載。
230066	長岡京跡左京八条一坊	城の里	鉄骨2階建	6月26日	GL-0.4 mの掘削。盛土のみを確認。
230067	長岡京跡関連遺跡	下海印寺西山田	木造2階建	6月28日	GL-0.3 mの掘削。表土層のコンクリート碎石以下、黄灰色粘質土層ベースの盛土のみを確認。
230068	谷田遺跡 奥海印寺遺跡	奥海印寺太鼓山	木造2階建	6月28日	GL-0.4 mの掘削。GL-0.1 mまでの整地土以下は地山。
230069	長岡京跡右京二条二坊井ノ内遺跡 井ノ内古墳群	井ノ内小西	木造2階建	6月28日	GL-0.3 mの掘削。表土層の層厚0.05 mコンクリート碎石直下で、暗茶褐色土層を確認。旧地形の土層層序の竹藪整地腐植土層。
230070	長岡京跡右京六条一坊開田古墳群 神足遺跡 近世勝龍寺城跡	神足一丁目	木造2階建	6月28日	本文中に内容を掲載。
230071	長岡京跡右京四条一坊	一文橋二丁目	木造2階建	6月29日	小畑川西側堤斜面。東側（川側）は、GL-0.5 mの掘削。西側（道路側）は、GL-0.3～0.4 mの掘削。廃土を東側に嵩上げ。盛土のみを確認。
230072	長岡京跡左京六条二坊	神足拾式	鉄骨4階建	6月30日 7月3・10日	L670次調査対象外の六条大路北側溝の立会調査。外周部はGL-1～1.7 mの掘削。盛土のみを確認。
230073	長岡京跡右京五条四坊	今里南平尾	鉄骨2階建	7月3日	GL-0.4 mの掘削。盛土のみを確認。
230074	長岡京跡右京二条二坊	滝ノ町一丁目	鉄骨3階建	7月4日	GL-1.4 mの掘削。盛土のみを確認。
230075	長岡京跡右京四条二坊	長岡三丁目	木造3階建	7月7日	GL-0.9 mの掘削。盛土のみを確認。
230076	奥海印寺遺跡	奥海印寺大見坊	木造2階建	7月10日	GL-0.45 mの掘削。盛土のみを確認。
230077	長岡京跡右京四条三坊陶器町遺跡	長岡三丁目	鉄骨2階建	7月11日	GL-0.2 mの掘削。盛土のみを確認。
230078	長岡京跡右京四条一坊	一文橋二丁目	鉄骨2階建	7月11日	GL-0.4 mの掘削。盛土のみを確認。

調査 次数	遺 跡 名	所 在 地	工事内容	調 査 日	調 査 概 要
230079	長岡京跡右京四条四坊	うぐいす台	木造2階建	7月11日	GL-0.3 mの掘削。盛土のみを確認。
230080	長岡京跡右京七条二坊 開田遺跡	神足二丁目	木造2階建	7月12日	GL-0.2 mの掘削。盛土のみを確認。
230081	長岡京跡左京六条一坊	神足垣外ヶ内	木造2階建	7月12日	柱状地盤改良工事済、GL-0.45 mの掘削。盛土のみを確認。
230082	長岡京跡右京三条一坊	今里川原	木造2階建	7月14日	GL-0.7 mの掘削。盛土のみを確認。
230083	長岡京跡右京六条四坊 西四坊大路	奥海印寺太鼓山	木造2階建	7月14日	GL+1 mの高上げ部分に-0.4 mの掘削。盛土のみを確認。
230084	長岡京跡右京九条一坊 九条条間北小路 南栗ヶ塚遺跡 久保古墳群	久貝三丁目	木造2階建	7月14日	GL-0.4 m、一部GL-0.65 mの掘削。表土整地土直下、GL-0.2 m程で茶褐色砂質土層の旧地形の土層層序を確認。
230085	奥海印寺遺跡	奥海印寺野辺田	木造2階建	7月18日	GL-0.1 mの掘削。盛土のみを確認。
230086	長岡京跡右京六条三坊 天神山遺跡	天神二丁目	木造2階建	7月19日	GL-0.4 mの掘削。盛土の下、GL-0.25 mで地山の可能性がある橙褐色砂礫土層を確認。
230087	谷田遺跡 奥海印寺遺跡	奥海印寺太鼓山	木造2階建	7月20日	GL-0.4 mの掘削。盛土のみを確認。
230088	長岡京跡左京六条一坊	神足掛越	木造2階建	7月20日	GL-0.8 mの掘削。盛土のみを確認。
230089	長岡京跡左京八条一坊	城の里	木造3階建	7月20日	GL-0.3 mの掘削。盛土のみを確認。
230090	長岡京跡右京四条四坊	うぐいす台	鉄骨2階建	7月20日	GL-0.5 mの掘削。盛土のみを確認。
230091	長岡京跡右京四条一坊	一文橋二丁目	木造3階建	7月21日	GL-0.6 mの掘削。盛土のみを確認。
230092	長岡京跡左京六条一坊	神足屋敷	木造2階建	7月24日	GL-0.4 mの掘削。盛土のみを確認。
230093	奥海印寺遺跡	奥海印寺八戸木	木造2階建	7月24日	GL-0.1 mの掘削。盛土のみを確認。
230094	長岡京跡右京三条二坊 今里遺跡	今里更ノ町	鉄骨3階建	7月25・26・ 27・28日	GL-1.4 mの掘削。表土層のコンクリート碎石直下で、旧地形の土層層序を確認。 GL-1～1.2 mの掘削。GL-0.8 mまでの盛土直下、旧耕作土の暗灰色粘質土層以下、旧地形の土層層序を確認。
230095	長岡京跡右京六条一坊 六条条間北小路 神足遺跡 近世勝龍寺城跡	神足一丁目	木造3階建	7月25日	GL-0.3 mの掘削。盛土のみを確認。
230096	長岡京跡左京六条一坊	神足掛越	木造2階建	7月25日	基礎工事済、GL-0.3 mまでは盛土のみを確認。
230097	長岡京跡左京六条一坊	神足掛越	木造2階建	7月25日	基礎工事済、土層観察は不可。
230098	長岡京跡左京六条一坊	神足掛越	木造2階建	7月25日	基礎工事済、土層観察は不可。
230099	長岡京跡右京五条二坊	長岡一丁目	木造2階建	7月25日	GL-0.2 mの掘削。盛土のみを確認。
230100	長岡京跡右京三条四坊 西四坊大路	粟生樋ヶ前	木造2階建	7月26日	GL-0.35 m、一部GL-0.4 mの掘削。盛土のみを確認。

24 主な調査成果

調査 回数	遺 跡 名	所 在 地	工事内容	調 査 日	調 査 概 要
230101	長岡京跡右京三条四坊 井ノ内遺跡	井ノ内朝日寺	鉄筋3階建	7月26日 8月22・23・25・ 29日	埋め立て済みの整地作業中、一部道路側でGL-0.3mの掘削。盛土のみを確認。 南西隅擁壁工事。GL-3m既存コンクリート擁壁基礎部まで掘削。池側一部で、GL-2.5m程で黄灰色・灰色粘土層の地山層を確認。 東端北側での柱状地盤改良工事。掘削部については、東側から観察することができた。南側の既存擁壁基礎部分は、GL-2.4mの掘削。基礎部は2mまでで、直下は暗黄灰色粘質土層の地山層が見られた。また、池側は灰色砂礫層であった。 東端部の掘削。既存擁壁の基礎部までの掘削。GL-2m、幅1m程。北側はGL-0.7m順次掘削。地山は確認できず。 東端部GL-3m程の掘削。南側擁壁基礎底よりさらに0.8～1m程の掘削し、盛土を除去。池底はコンクリート基礎底。北側は道路下で、青灰色粘土層の地山を確認。
230102	長岡京跡左京六条一坊	神足掛越	木造2階建	7月26日	基礎工事済、GL-0.3mの掘削。盛土のみを確認。
230103	奥海印寺遺跡 海印寺跡	奥海印寺大見坊	宅地造成	7月31日	GL+1mの嵩上げ部分にGL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。
230104	奥海印寺遺跡	奥海印寺火ノ尾	鉄骨2階建	7月31日	GL-0.4mの掘削。GL-0.3mまでは盛土、直下は黄橙色粘質土層の地山層を確認。
230105	長岡京跡右京八条三坊 鞆岡廢寺	友岡四丁目	木造3階建	7月31日	基礎工事済、GL-0.45mの掘削。GL-0.25mまでは盛土。直下の土層観察は不可。
230106	長岡京跡右京四坊 今里遺跡	今里彦林	木造2階建	8月1日	GL-0.6mの掘削。盛土のみを確認。
230107	長岡京跡右京七条四坊	奥海印寺森ノ下	木造2階建	8月1日	GL-0.3mの掘削。盛土のみを確認。
230108	長岡京跡右京七条二坊	友岡二丁目	木造2階建	8月1日	GL-0.5mの掘削。盛土のみを確認。
230109	長岡京跡右京七条二坊	友岡二丁目	木造2階建	8月2日	GL-0.6mの掘削。盛土のみを確認。
230110	長岡京跡右京九条三坊 裕遺跡	調子二丁目	鉄筋3階建	8月7日	GL-0.5mの掘削。盛土のみを確認。
230111	長岡京跡右京三条四坊 三条大路 今里遺跡	今里彦林	木造2階建	8月7日	GL-0.5mの掘削。盛土のみを確認。
230112	長岡京跡右京七条二坊	緑が丘	木造2階建	8月8日	GL-0.5mの掘削。盛土のみを確認。
230113	長岡京跡右京八条三坊	うぐいす台	木造2階建	8月10日	基礎工事済、GL-0.2m程の掘削。盛土のみを確認。
230114	奥海印寺遺跡	奥海印寺八戸木	木造2階建	8月17日	GL-0.6mの掘削。盛土のみを確認。
230115	長岡京跡右京三条一坊 更ノ町遺跡 今里遺跡	今里更ノ町	鉄骨2階建	8月18日	GL-0.55mの掘削。掘削工事、コンクリート基礎工事とも施工済。盛土のみを確認。
230116	長岡京跡右京三条四坊 三条大路 今里遺跡	今里彦林	木造2階建	8月21日	GL-0.5mの掘削。GL-0.2mまで盛土。以下、地山層を確認。
230117	長岡京跡右京四坊 陶器町遺跡	長岡一丁目	駐車場築造	8月21日	GL-0.5mの掘削。盛土のみを確認。
230118	長岡京跡右京五条二坊	長岡一丁目	木造1階建	8月21日	GL-0.5mの掘削。GL-0.3mまで盛土。以下、地山層を確認。

調査 次数	遺跡名	所在地	工事内容	調査日	調査概要
230119	長岡京跡右京三条三坊	今里更ノ町	鉄骨2階建	8月22日	GL-0.3mの掘削。盛土のみを確認。
230120	長岡京跡右京五条三坊	天神五丁目	木造2階建	8月22日	GL-1.4mまでの表層改良工事。GL-0.6mまでは盛土。GL-0.6～0.8mが耕作土。以下、黄灰色粘土層をはじめとする地山層。
230121	長岡京跡左京六条一坊	神足掛越	木造2階建	8月22日	GL-0.2m、一部GL-0.35mの掘削。GL-0.2mまでが盛土、直下で、旧耕作土の暗灰色粘質土層などの旧地形の土層層序を確認。
230122	長岡京跡右京二条三坊 西二坊大路	井ノ内上印田	木造2階建	8月25日	GL-0.5mの掘削。盛土のみを確認。
230123	長岡京跡右京四条一坊 西一坊大路	柴の里	鉄骨2階建	8月28日	GL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。
230124	長岡京跡左京八条一坊 朱雀大路	勝竜寺巡り原	木造2階建	8月28日	GL-0.2mの掘削。盛土のみを確認。
230125	長岡京跡右京四条二坊	野添一丁目	木造2階建	8月28日	GL-0.5mの掘削。盛土のみを確認。
230126	長岡京跡右京六条四坊	天神三丁目	木造2階建	8月28日	GL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。
230127	長岡京跡右京七条二坊	友岡二丁目	木造2階建	8月29日	GL-0.3m、一部GL-0.7mの掘削。GL-0.4mまでは旧地形の造成整地土。GL-0.4m以下は、赤褐色砂礫土層の地山層であった。
230128	長岡京跡右京七条二坊	友岡二丁目	木造2階建	8月29日	GL-0.4mの掘削。造成整地土のみを確認。
230129	長岡京跡右京七条二坊	緑が丘	木造3階建	8月30日	GL-0.2mの掘削。表土層及びクラッシャーの層厚0.1mの盛土直下、GL-0.1mで礫包含黄橙色粘質砂土層の地山を確認。
230130	奥海印寺遺跡 海印寺跡	奥海印寺大見坊	木造2階建	9月1日	南側宅地、西側耕作地より1.5m程の盛土嵩上げ造成地。GL-0.25mの掘削。盛土のみを確認。
230131	長岡京跡右京三条二坊	柴の里	木造2階建	9月1日	基礎工事済、敷地外からの観察では、盛土のみを確認。
230132	長岡京跡右京三条三坊 今里遺跡 更ノ町遺跡	今里更ノ町	鉄骨2階建	9月4日	GL-0.5mの掘削。盛土のみを確認。
230133	長岡京跡右京二条二坊	滝ノ町二丁目	木造2階建	9月4日	GL-0.2mの掘削。盛土のみを確認。
230134	長岡京跡右京三条三坊 今里遺跡 更ノ町遺跡	今里更ノ町	鉄骨2階建	9月5日	GL-0.5mの掘削。盛土のみを確認。
230135	長岡京跡右京五条三坊 開田城ノ内遺跡	長岡二丁目	鉄骨2階建	9月6日	敷地南壁で旧地形の土層層序を確認。GL-1.3mの掘削。GL-0.5mまでは盛土、直下、旧耕作土の暗灰色粘質土層以下、旧地形の土層層序を確認。GL-1.1mでマンガンを含む黄灰色粘質土層の地山を確認。
230136	長岡京跡左京六条一坊 東一坊坊間大路 雲宮遺跡	神足森本	木造2階建	9月6日	基礎工事済、基礎コンクリート枠組作業中。観察できる範囲では、GL-0.2mまでコンクリート碎石の盛土のみを確認。
230137	長岡京跡右京四条四坊 三条大路 今里遺跡	今里彦林	木造2階建	9月7日	GL-0.3m、一部GL-0.4mの掘削。旧地形まで削平済み。南側は丘陵の地山層である赤褐色砂礫土層を、北側は崩落堆積層の暗黄橙色土層を確認。
230138	長岡京跡右京七条四坊 西四坊坊間東小路 伊賀寺遺跡	下海印寺上内田	側溝工事	9月8日	既設側溝の除去工事、GL-0.45mの掘削。既設側溝の設置工事の盛土のみを確認。
230139	長岡京跡右京六条一坊 神足遺跡 開田古墳群 近世勝龍寺城跡	神足一丁目	木造2階建	9月8日	GL-0.3mの掘削。盛土のみを確認。

26 主な調査成果

調査 次数	遺 跡 名	所 在 地	工事内容	調 査 日	調 査 概 要
230140	奥海印寺遺跡	奥海印寺門ノ町	木造 2 階建	9 月 13 日	GL-0.3 m の掘削。盛土のみを確認。
230141	長岡京跡右京四條二坊	長岡三丁目	木造 2 階建	9 月 15 日	GL-0.3 m の掘削。盛土のみを確認。
230142	長岡京跡左京六條二坊 雲宮遺跡	神足雲宮	木造 2 階建	9 月 21 日	GL-0.45 m の掘削。盛土のみを確認。
230143	長岡京跡右京二條二坊 二條条間南小路	西の京	木造 2 階建	9 月 22 日	基礎工事済。土層観察は不可。
230144	奥海印寺遺跡	奥海印寺八戸木	木造 2 階建	9 月 25 日	GL-0.2 m の掘削。盛土のみを確認。
230145	長岡京跡右京六條一坊 神足遺跡 近世勝龍寺城跡	神足一丁目	木造 2 階建	9 月 25・26 日	柱状地盤改良工事、表土層のコンクリート碎石の みを確認。 基礎工事、GL-0.5 m の掘削。盛土のみを確認。
230146	長岡京跡右京五條一坊	一文橋一丁目	看板設置工 事	9 月 26 日	GL-1.3 m の掘削。GL-1.1 m で茶黄土色粘質土層 を確認。
230147	長岡京跡右京七條三坊 友岡遺跡	友岡一丁目	木造 2 階建	9 月 26 日	GL-0.3 m の掘削。GL-0.15 m で地山の可能性が ある茶褐色粘質土層を確認。
230148	長岡京跡右京二條二坊 西二坊坊間東小路	滝ノ町二丁目	木造 3 階建	9 月 27 日	GL-0.15 m の掘削。盛土のみを確認。
230149	長岡京跡右京八條二坊 友岡遺跡	友岡三丁目	看板設置工 事	9 月 27 日	GL-1.1 m の掘削。GL-0.1 m から礫混じりの灰褐 色土層、GL-0.4 m から明褐色シルト層、GL-1 m から礫混じりの橙褐色土層を確認。
230150	長岡京跡右京八條一坊	久貝二丁目	木造 2 階建	9 月 27 日	GL-0.3 m の掘削。盛土のみを確認。
230151	長岡京跡右京八條一坊 南栗ヶ塚遺跡	久貝二丁目	木造 2 階建	9 月 27 日	GL-0.25 m の掘削。盛土のみを確認。
230152	長岡京跡右京八條四坊	泉が丘	木造 2 階建	9 月 28 日	GL-0.3 ~ 0.35 m の掘削。盛土のみを確認。
230153	長岡京跡左京六條一坊 雲宮遺跡	東和苑	鉄骨 2 階建	10 月 2 日	GL-0.7 m の掘削。コンクリート碎石敷き詰め、シー ト養生済のため土層観察は不可。
230154	長岡京跡右京二條二坊	滝ノ町二丁目	鉄筋 2 階建	10 月 3・10 日	GL-0.3 ~ 1 m の掘削。盛土のみを確認。
230155	長岡京跡左京六條二坊 雲宮遺跡	神足雲宮	木造 2 階建	10 月 6 日	GL-0.4 m の掘削。盛土のみを確認。
230156	長岡京跡右京五條二坊 開田城ノ内遺跡	長岡二丁目	木造 2 階建	10 月 10 日	GL-0.6 m の掘削。盛土のみを確認。
230157	長岡京跡右京八條一坊 南栗ヶ塚遺跡	久貝二丁目	木造 2 階建	10 月 10 日	GL-0.3 m の掘削。盛土のみを確認。
230158	長岡京跡右京五條三坊 開田城ノ内遺跡	長岡二丁目	木造 2 階建	10 月 11 日	GL-0.15 m の掘削。盛土のみを確認。
230159	長岡京跡左京八條一坊	勝竜寺寺三枚田	木造 2 階建	10 月 12 日	GL-0.5 m の掘削。盛土のみを確認。
230160	長岡京跡右京七條四坊 西四坊坊間小路	梅が丘三丁目	鉄骨 2 階建	10 月 12 日	GL-0.6 m の掘削。盛土のみを確認。
230161	長岡京跡右京六條二坊 開田遺跡 開田古墳群	開田一丁目	鉄骨 1 階建	10 月 12・17・ 18 日	GL-0.85 ~ 1 m の掘削。盛土のみを確認。

調査 次数	遺 跡 名	所 在 地	工事内容	調 査 日	調 査 概 要
230162	長岡京跡右京三条四坊	今里彦林	木造2階建	10月12日	基礎工事済、土層観察は不可。
230163	長岡京跡右京六条四坊	奥海印寺東山	木造2階建	10月12日	五段積みブロック設置工事。GL-0.35mの掘削。盛土のみを確認。
230164	長岡京跡右京七条三坊	花山一丁目	木造2階建	10月12日	GL+2.2mの盛土による造成地。さらにGL+0.35mの嵩上げ後GL-0.2mの掘削。盛土のみを確認。
230165	長岡京跡右京二条二坊	西の京	木造3階建	10月13日	GL-0.35mの掘削。GL-0.05～0.1mのコンクリート碎石の表土直下、黄橙色砂礫土層の地山が見られた。自然堤防土壌と思われる。
230166	奥海印寺遺跡 海印寺跡	奥海印寺大見坊	木造2階建	10月16日	GL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。
230167	長岡京跡右京六条四坊	天神二丁目	木造2階建	10月17日	GL-0.2～0.8mの掘削。盛土のみを確認。
230168	奥海印寺遺跡 谷田遺跡	奥海印寺太鼓山	木造2階建	10月19日	GL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。
230169	長岡京跡右京五条四坊	今里南平尾	木造2階建	10月20日	GL-0.4mの掘削。GL-0.3mの盛土、以下は黄灰色粘土層の地山を確認。
230170	長岡京跡右京八条一坊	久貝二丁目	木造2階建	10月24日	道路面よりGL+0.8mの嵩上げ造成土台にGL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。
230171	奥海印寺遺跡	奥海印寺八戸木	木造2階建	10月25日	GL+1.4mの嵩上げ造成後、GL-0.25mの掘削。盛土のみを確認。
230172	長岡京跡左京六条一坊 雲宮遺跡	神足垣外ヶ内	木造2階建	10月25日	GL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。
230173	長岡京跡右京六条四坊	天神三丁目	木造2階建	10月26日	道路面よりGL+0.6mの嵩上げ後、GL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。
230174	長岡京跡右京四条一坊 西一坊大路	一文橋二丁目	木造2階建	10月27日	GL-0.25mの掘削。盛土のみを確認。
230175	長岡京跡右京七条三坊 友岡遺跡	花山三丁目	木造2階建	10月30日	GL-0.2～0.6mの掘削。調査地南西隅でGL-0.4mの盛土下にGL-0.2mの灰褐色砂質シルト層を確認。
230176	長岡京跡右京五条二坊	長岡一丁目	木造2階建	10月30日	GL-0.2mの掘削。盛土のみを確認。
230177	長岡京跡右京六条一坊 六条条間北小路 神足遺跡 開田古墳群 近世勝竜寺城跡	神足一丁目	鉄骨2階建	10月30日	GL-0.5mの掘削。調査地北東隅でGL-0.5mの盛土下に明褐色シルトの地山層を確認。調査地の大部分は旧建物体時の攪乱を受けているものとみられる。
230178	長尾京跡右京五条四坊 五条条間小路	天神四丁目	木造2階建	10月31日 11月1日	GL-0.2mの面での掘削。盛土のみを確認。GL-0.1mの線掘り。最終的には、GL-0.3mの掘削。基本的に盛土であるが、一部、黄灰色粘質土層の地山土層を確認。
230179	長岡京跡右京七条三坊 西三坊坊間西小路	下海印寺横山	木造2階建	11月6日	GL-0.3mの掘削。盛土のみを確認。
230180	長岡京跡右京七条三坊 七条条間北小路	花山一丁目	木造2階建	11月6日	GL-2.5mの掘削。GL-0.2mで灰白色粘質土層の地山を確認。
230181	長岡京跡左京八条一坊	城の里	木造2階建	11月6日	GL-0.25mの掘削。盛土のみを確認。
230182	長岡京跡右京二条三坊 上里遺跡	井ノ内北内畑	木造2階建	11月7日	GL-0.35mの掘削。南半では、GL-0.35mで地山の黄橙色砂礫土層が見られたが、北半では第2層の暗茶褐色砂質土層が堆積していることが確認できた。

28 主な調査成果

調査 次数	遺 跡 名	所 在 地	工事内容	調 査 日	調 査 概 要
230183	長岡京跡右京四条二坊 二条大路 陶器町遺跡	長岡三丁目	木造2階建	11月14日	基礎工事済。GL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。
230184	長岡京跡関連遺跡	下海印寺西山田	木造2階建	11月15日	柱状地盤改良工事、GL-4.25～6.75mの掘削。表土層盛土GL-0.4mのみ確認した。
230185	長岡京跡右京七条三坊 友岡遺跡	花山三丁目	鉄骨2階建	11月15日	GL-0.45m、一部GL-0.7mの掘削。GL-0.2mまでの表土直下は黄茶褐色系の堆積土層が続き、GL-0.7mまでは地山は確認できなかった。
230186	長岡京跡左京六条一坊 朱雀大路	東神足一丁目	宅地造成	11月15日	宅地造成に伴う既設側溝改修工事。深さ0.4m、側溝から宅地側へ0.6m程の掘削。暗黄褐色粘質土及び暗黄灰色粘質土層の盛土のみを確認。
230187	長岡京跡右京七条三坊	花山一丁目	木造2階建	11月17日	GL+2.2mの盛土による造成地。GL+0.4mの高上げ。掘削なし。
230188	長岡京跡右京五条二坊 開田城ノ内遺跡	長岡二丁目	木造2階建	11月20日	掘削工事、コンクリート基礎工事とも施工済。土層観察は不可。
230189	長岡京跡右京七条二坊 開田遺跡	神足三丁目	木造2階建	11月20日	GL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。
230190	長岡京跡右京五条二坊 開田古墳群	長岡一丁目	木造2階建	11月21日	柱状地盤改良工事済。GL-0.35mの掘削。盛土のみを確認。
230191	長岡京跡右京六条一坊 神足遺跡 近世勝龍寺城跡 開田古墳群	神足一丁目	木造1階建	11月21日	柱状地盤改良工事済。GL-0.25mの掘削。表土および盛土のみを確認。
230192	長岡京跡右京七条一坊 神足遺跡 中世勝龍寺城跡	東神足二丁目	木造2階建	11月22日	柱状地盤改良工事済。GL-0.15mの掘削。盛土のみを確認。
230193	長岡京跡左京七条一坊 雲宮遺跡	神足太田	鉄骨2階建	11月22日	GL-0～0.2mの整地作業。基本的に掘削なし。盛土のみを確認。
230194	長岡京跡右京四条三坊 西三坊坊間小路	うぐいす台	木造1階建	11月24日	GL-0.7mの掘削。盛土のみを確認。
230195	長岡京跡右京七条一坊 西一坊坊間大路 神足遺跡 中世勝龍寺城跡	東神足二丁目	木造2階建	11月27日	コンクリート基礎工事済。土層観察は不可。
230196	長岡京跡右京四条三坊 陶器町遺跡 舞塚古墳群	長岡三丁目	鉄骨1階建	11月27日	GL-0.3mの掘削。盛土のみを確認。
230197	長岡京跡右京七条三坊	天神二丁目	鉄骨2階建	11月27・28日	柱状地盤改良工事の鋼管・コンクリート基礎の除去工事。GL-2mの掘削。GL-0.3mまでの表土層以下で、地山層の黄茶褐色粘土層、茶灰色粘土層を確認。 GL-2.5mの掘削。GL-0.3mの表土直下、黄橙色粘質土層系の地山を確認。
230198	長岡京跡右京六条一坊	神足一丁目	木造2階建	11月27日	GL-0.2mの掘削。盛土のみを確認。
230199	長岡京跡右京八条一坊 朱雀大路	城の里	木造3階建	11月29日	GL-0.4mの掘削。盛土のみを確認。

付表-4 報告書抄録

ふりがな	ながおかきょうしぶんかぎいちようさほうこくしょ
書名	長岡京市文化財調査報告書
副書名	
シリーズ名	長岡京市文化財調査報告書
シリーズ番号	第81冊
編著者名	中島皆夫、猿向敏一
編集機関	公益財団法人 長岡京市埋蔵文化財センター
所在地	〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺東条10番地の1

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡					
いげのやまごふん 恵解山古墳 みなみくりがづかいせき 南栗ヶ塚遺跡 ながおかきょうあと 長岡京跡 (右京八条一坊十五町)	ながおかきょうししよかいいんじ 長岡京市勝竜寺地内	26209	200	34°56'09"	135°42'02"	20230123) 20230203	約3㎡	範囲 確認
			103					
			107					
ともおかいせき 友岡遺跡 ながおかきょうあと 長岡京跡 (右京七条三坊十一町)	ながおかきょうししよかいいんじ 長岡京市下海印寺 よこやま 横山	26209	97	34°91'88"	135°68'74"	20221212) 20221215	-	宅地 造成
			107					
ちようほうじいせき 長法寺遺跡 ながおかきょうあと 長岡京跡 (右京五条四坊九町)	ながおかきょうしちようほうじ 長岡京市長法寺 みなみの 南野	26209	42	34°92'97"	135°68'23"	20221221) 20221223	-	宅地 造成
			107					
かいでんごふんぐん 開田古墳群 ながおかきょうあと 長岡京跡 (右京五条二坊七町)	ながおかきょうしながおか 長岡京市長岡一丁目	26209	63	34°92'98"	135°69'52"	20230220) 20230227	-	木造 2階建
			107					
ながおかきょうあと 長岡京跡 (右京五条二坊十町)	ながおかきょうしながおか 長岡京市長岡一丁目	26209	107	34°92'97"	135°69'36"	20230317	-	鉄骨 2階建
ちゆうせいしやうりゆうじしやうあと 中世勝龍寺城跡 ながおかきょうあと 長岡京跡 (右京七条一坊五町)	ながおかきょうししやうりゆうじ 長岡京市勝竜寺	26209	84-1	34°91'69"	135°70'13"	20230621) 20230627	-	地中 埋設物 試掘
			107					
かいでんごふんぐん 開田古墳群 こうたりいせき 神足遺跡 きんせいしやうりゆうじしやうあと 近世勝龍寺城跡 ながおかきょうあと 長岡京跡 (右京六条一坊十一町)	ながおかきょうしこうたり 長岡京市神足一丁目	26209	63	34°92'36"	135°69'92"	20230628	-	木造 2階建
			83					
			84-2					
			107					

※ 緯度、経度の測点は調査区の中心で、世界座標系を使用している。

遺 跡 名	種 別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
恵解山古墳 南栗ヶ塚遺跡 長岡京跡 (右京第 1274 次)	墳墓 集落 都城	古墳時代	後円部・前方部の墳丘盛土		恵解山古墳の墳丘盛土を確認。
友岡遺跡 長岡京跡 (立会第 220197 次)	集 落 都 城				
長法寺遺跡 長岡京跡 (立会第 220207 次)	集 落 都 城		環濠か		
開田古墳群 長岡京跡 (立会第 220249 次)	集 落 都 城		柱穴		
長岡京跡 (立会第 220271 次)	都 城		遺構残欠		
中世勝龍寺城跡 長岡京跡 (立会第 23065 次)	城 郭 都 城	近・現代	溝		
開田古墳群 神足遺跡 近世勝龍寺城跡 長岡京跡 (立会第 23070 次)	古墳群 集 落 城 郭 都 城	長岡京期	落ち込み	土師器・皿・高杯 製塩土器	

圖 版

恵解山古墳第 13 次（長岡京跡右京第 1274 次）調査



(1) 後円部の調査前風景（南東から）



(2) 前方部の調査前風景（北西から）



(3) 1 トレンチ全景（南東から）



(4) 2 トレンチ全景（南東から）



(5) 2 トレンチ墳丘盛土と造成土（南東から）



(6) 3 トレンチ全景（北東から）



(7) 3 トレンチ墳丘盛土と造成土（東から）



(8) 4 トレンチ全景（北から）

恵解山古墳第 13 次（長岡京跡右京第 1274 次）調査

図版
二



(1) 1 トレンチ完掘状況（東から）



(2) 1 トレンチ埋め戻し状況（東から）



(3) 2 トレンチ完掘状況（東から）



(4) 2 トレンチ埋め戻し状況（東から）



(5) 3 トレンチ完掘状況（北東から）



(6) 3 トレンチ埋め戻し状況（北東から）



(7) 4 トレンチ完掘状況（北から）



(8) 4 トレンチ埋め戻し状況（北から）

長岡京市文化財調査報告書 第 81 冊

令和 6 (2024) 年 3 月 25 日 発行

- 編 集 公益財団法人 長岡京市埋蔵文化財センター
〒 617 - 0853 京都府長岡京市奥海印寺東条 10 番地の 1
電話 075 - 955 - 3622 FAX 075 - 951 - 0427
- 発 行 長岡京市教育委員会
〒 617 - 0851 京都府長岡京市開田一丁目 1 - 1
電話 075 - 951 - 2121 (代)
- 印 刷 山代印刷株式会社
〒 602 - 0062 京都府京都市上京区寺之内町通小川西入
宝鏡院東町 588 番地
電話 075 - 441 - 8177 FAX 075 - 441 - 8179

